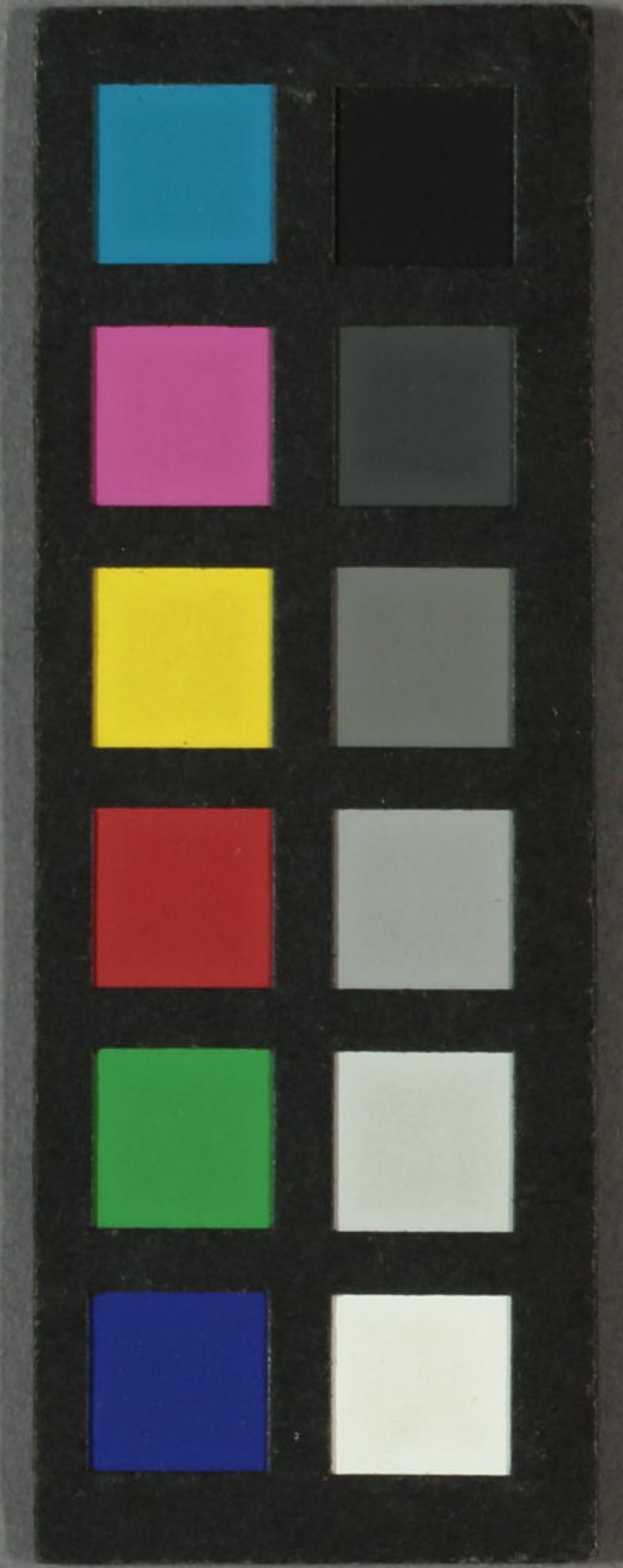


增

四季類大全

卷之五

五



四季部 大まな房
 礎を築ちては 越えては 越えては 越えては
 家とあり 家とあり 家とあり 家とあり
 秋と云ふ 海とあり 春とあり 夏とあり
 土とあり 土とあり 土とあり 土とあり
 木とあり 木とあり 木とあり 木とあり
 石とあり 石とあり 石とあり 石とあり
 水とあり 水とあり 水とあり 水とあり
 火とあり 火とあり 火とあり 火とあり
 金とあり 金とあり 金とあり 金とあり
 土とあり 土とあり 土とあり 土とあり
 木とあり 木とあり 木とあり 木とあり
 石とあり 石とあり 石とあり 石とあり
 水とあり 水とあり 水とあり 水とあり
 火とあり 火とあり 火とあり 火とあり
 金とあり 金とあり 金とあり 金とあり

四季部 大まな房

明治十一年 皇國宮之進 刻

仁青印



もてんやーなるがけんやーあもよひを
にあまのこころをよきあまのこころを
社友のまことしきあまのこころのあまの
あまのこころをよきあまのこころを
あまのこころをよきあまのこころを
あまのこころをよきあまのこころを
あまのこころをよきあまのこころを
あまのこころをよきあまのこころを
あまのこころをよきあまのこころを
あまのこころをよきあまのこころを
あまのこころをよきあまのこころを

作る社通の秤 要あはれさう心も念
まはれまはれまはれまはれまはれまはれ
すまのこころをよきあまのこころを

信をよきあまのこころをよきあまのこころを



大世代易筭之地種波南
 御坊前花屋裏俳席の圖

○歳且之詞

さうん不用ひまきる景物と河川先此
部々河々を以て

○乾坤

天象隆お風件山嶽水邊時候人事小悉く
此部よおむまきる有ふまきるも此部毎部一其
所よこといふまに河々を以てハ・とりの川と
多川毎部よおむまきる

○植物類

竹木類此部よおむまきる節小おむまきる諸君が平
ひ河々のハ宗匠にありて以て刊捨河々

○生類

禽獸魚虫此部よおむまきる生類小河々のハとも
生類の刊捨河々のハ其志々のまきるハ
そいふ毎部做之

○衣食類

衣類 飲食此部よおむまきる植物或ハ生類 木
部のまきるものも衣食類よおむまきる拾小

○神釋

神事法まきるまきるて其類小ちまきる河々お
ハ此部々一載す

○公事故支

古來用ひて季と定一河を聚むまきるて乾坤
植物生類衣食神類公る故事亦たむまきるまき
まきるものハまきる重考と又ハ注釈に

○歳末之詞

歳暮れりていふまきる景物河川先
此部に河々を以て

○懷紙句式十二法法此釋 每初心の多よりり

雞旦 改旦	正朔 歲朝	元旦 元朝	元日		歲旦之詞	正月	○春
立 復	仲呂 青和	新夏 早夏	孟夏 首夏	梅月 とこも八月	卯月 卯月	四月	○夏
立 秋	秋之川	孟秋 上秋	素秋 蘭秋	涼月 夷則	女郎月 素月	七月	○秋
小 春	小 六月	立 冬	孟冬 上冬	和冬月 和冬	一乃冬月 和冬月	十月	○冬

たゞの事、口授等儀之、て附録と

花屋菴鼎左著
辰一井肇一技

▲正月 歳旦

聖節 東君

新春 三九

歳首 上旦

立春

春の川

初鶏

初明

明初春

春の春

春の春

春の春

春の春

▲四月 乾坤

小満

梅天

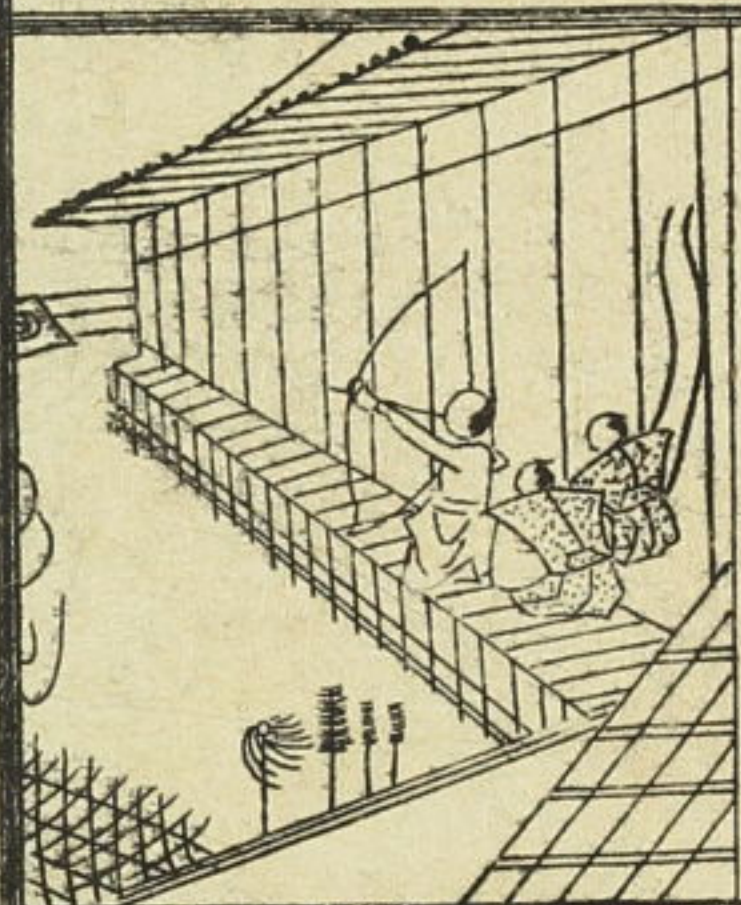
和清天

紅花ふじ

短夜

ゆやひさお

大矢數



▲七月 乾坤

今朝初秋

老の初秋

来る初秋

初秋

早秋

餞暑

残暑

秋初風

初嵐

身ふるむ

▲十月 乾坤

應鐘

答ル鐘

下元 十五日

亥初子

時雨

初時雨

むし時雨

水〜〜〜

片時雨

夕〜〜〜

〜〜〜

川音初時雨

うむる雨

籠〜

初代の春

君うらら

四方の春

密は春

初空

初空

年頭

三初初

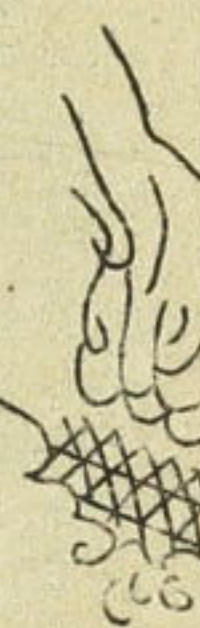
三初初

日初初

初日

初日

年初初



松前渡り

此下夏三月ホ

〜〜〜

蚊 嘔

汗 拭

汗 拭

扇

扇

舞阿ふき

礼阿ふき

團扇

初やゝあ

律初去る

新涼

初てま〜

稻妻

初月

花火

七日節句

七夕

初あはれ

風

初雪

初雪

初霜

初霜

初氷

初氷

冬さき

冬籠

冬構

改年

改年

阿のまのま

あゝまのま

むらふ年

新年

あゝまのま

あゝまのま

あゝまのま

あゝまのま

日傘

編笠

ふたり干

植物類

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

織女

牽牛

星合

二星

天の川

銀河

星

星

星

星

爐

火燧切ル

火燧切ル

火燧切ル

火燧切ル

火燧切ル

火燧切ル

火燧切ル

火燧切ル

火燧切ル

年禮

年玉

御慶

年花

初霞

初鳥

初夢

い初

初曆

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

燕子花

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

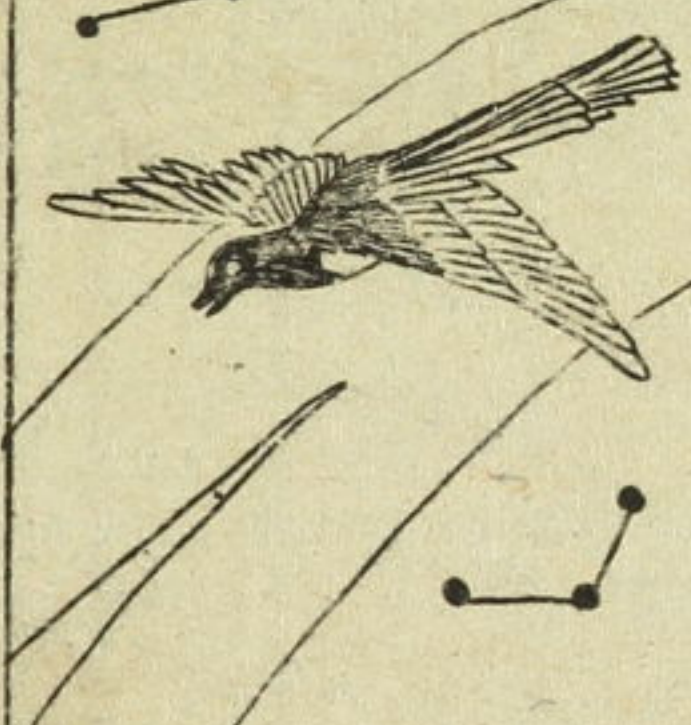
霜

霜

霜

霜

霜



▲正 歳旦
屠少々々

▲四 植物

▲七 乾坤

▲十 乾坤

若夷

庭竈

年男

若水

井つゝ井花井水

初手

御降

歳德



小阿ふたひ
かあふひ

麥秋

茶挽草

著シヤ莪ガ

一八

八



務の...

毛の...

天の...

七の...

七の...

硯洗ひ

七夕鞠

中元十五日



さの...

法の...

さの...

鐘

月

冬の...

山眠ル

壚

塗の...

巨の...

門の神棚

門飾

注連飾

門松大らざり
かさり繩

門本考らざり
まの肉ま

饒竹

饒門の竹

若ろ根

若ろ根



紫蘭ラ

風車

夏枯草

千日紅

山チ...

若根

若根

盆の突入

踊置

扇置

團の捨ル

生身魂



二百十日

處暑

埋火

田の爐の裏の火

火鉢

火の桶

措の...

手の...

手の...

手の...

手の...

懷の...

▲正

歳旦

福藁

かきり炭

飴海老

いせ海老うさる

掛むろ

標葉

標子草

齒朶

猫舌

山子

うしろ白

▲四

植物

天蓼

志のね

ぎんぎんのみむ



蓮子るる

麥門冬

残るる草

蕙

▲七

乾坤

以下秋三月に

正に

相撲

まきまきひりり
はたきまき

龍田姫

露

白露

うしろつゆ

霧

霧のま
神のはち

霧

霧りのま

霧の色

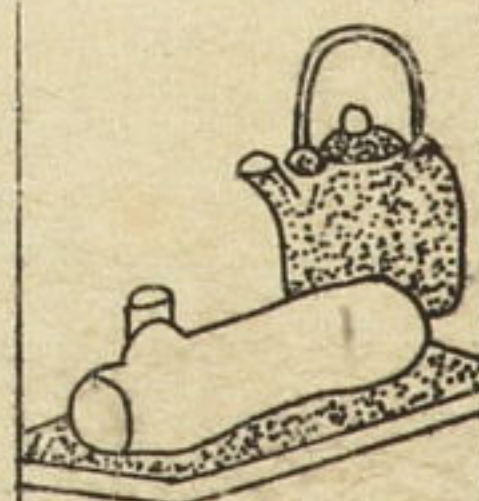
霧りのま
霧の色

▲十

乾坤

湯婆

湯婆



炭

炭竈

炭焼

白炭

枝炭

炭

炭

掛鯛

若餅

鏡餅

もちあらくこ

太箸

雑煮

かんを祝ふ
大こん祝ふ

羊のしんふ
羊のうこ

大姆

屠蘇

文字摺草



石薺

鴨足艸

藺苳

寶鐸草

樊噲草



川旁

川旁

秋風

秋苳宮

千秋樂

新澁

澁

植物類

梶苳葉

梶のま

芋の葉露

炭團

助炭

水滌

鞞

霜やけ

藤

植物類

落葉

落葉山
落葉のま

木苳葉

▲正 歳且 ▲四 植物 ▲七 植物 ▲十 植物

藥子

齒固

喰積

蓬菜

みあん

うや

ところ

あろ柿

いづみ

柿

穂 俵



田法

小殿原

俵子

料子物

数子子

豆

切き午房

慮陀草

玉卷芭蕉

玉卷葛

鷹爪

下毛

山

覆盆子

木

葉

葉



若葉

若葉花

余花

若葉紅葉

若楓

新樹

木下閣

木下閣

木下閣

木下閣

一葉

一葉

桐

桐

柳

楓

木

木

木

木

楹

楸

木

木

木

木

木

木

木

木

木葉時雨

木葉時雨

木葉雨

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

むきい昆布

みし肴

押鮎

古佐の記云々なる小冊
ひくくるるの首鮎
魚とて年の末の
小冊一魚鮎なり

腹赤

後赤の勢ハ弱
腹赤とて一
り
なる小冊
この魚鮎とて
魚とての首
なり

葉柳

葉櫻

櫻實

垂花

ういぎ
たを
お

あ
お

桐花

茨花

え

牛棘

薔薇



花柚

手やり花

白丁花

柿花

栗要花

桜櫛花

るびく

薺

蘭

らに
あ

ふち

燕尾香



秋海藻

桔梗

女郎屯

男へ

お

芭蕉

施覆花

鼠尾草

水掛草



紅葉散

冬牡丹

草のり

桔尾花

は

菊のり

萩かろ

萩かろ

葛かろ

桔蘆

ゆきの下

石路ノ花

麦蒔

蕎麥蒔

蕪

大根引

以下冬三月

冬木立

枯木立

水仙

▲正

國クニ拙サマシ奏ソウ



くすの笛
くすの笛

小朝拜

朝拜

救サマシ加カえ

院イ子シ拜ヒ禮レイ

懸カ想ソウ文ブン

千壽万歳

歳且

▲四

藪ヤブつツちチき

嵐アザナもちモチけケむ

厚アツク扑ウチ花ハナ



青木アヲキノ花ノハナ

黄ワウ絲シノ花ノハナ

岩イワ梨リ

岩イワ藤フジ

盧ロ播ハ

植物

▲七

菘ス

本ホン阿アのノ菘ス

高タカ菘ス

あアのノ菘ス

ふフのノ菘ス

五イチ味ミ子コ

翁オウ草ソウ

觀カン音オン草ソウ

藥ヤク師シ草ソウ

おオのノ菘ス

植物

▲十

寒サムイ菊キク

冬フユのノ菊キク

枯カ柳ヤナギ

葱ネギ

ねネのノ葱ネギ

胡コ菴アム引ヒキ

生ナるルゐミ

鶯ウ子コ啼ナリ

氷ヒ魚イサ

生類

萬マン戈カ

大黒舞

猿イヌ曳ヒキ

春ハル駒コマ

鳥トリ追オヒヒ



碓ウシ玉タマ

毬キ打ヒ

常盤木落葉

茂モり

木キをヲさサるル

枳キ子コノ花ノハナ

蜜ミツ柑カンノ花ノハナ

金キン柑カンノ花ノハナ

搔カ子コノ花ノハナ

九ク年ネン母ボノ花ノハナ

枳キ殼カクノ花ノハナ



仙セン翁ウ花ハ

観カン者シャ

紅ベニ梅ウメのノ花ハ

頰キ桐キ

やヤのノ花ハ

鳳ホウ仙セン花ハ

つツのノ花ハ

鱈タラ

鱈タラ

以下冬三月小
まマのノ魚イサ

河カ豚ブタ

牡ウシ蛎カキ

生ナ海ウミ崩クラ

水ミヅ鳥トリ

浮ウ森キ鳥トリ

▲正

歳旦

▲四

植物

▲七

植物

▲十

生類

玉打

破 弓

たへ海矢

手海りつ

やまももぶ

羽子板

たし手板

さそそそめ

とんえんめ

馬乗 初

雲列播ノ花

タケノコ

篠ノ子

綿 蔣

豆 植ル

復木立

此下夏三月に
玉たるふ

青山椒

露



解復草

益母草

曼珠沙花

うろんのせ

まろひら子

茗荷の花

弓は 先

蔵 糸

船乗 初

松 雑子

吉書 初

吉書 初

試毫

宝 引

蓼

刈

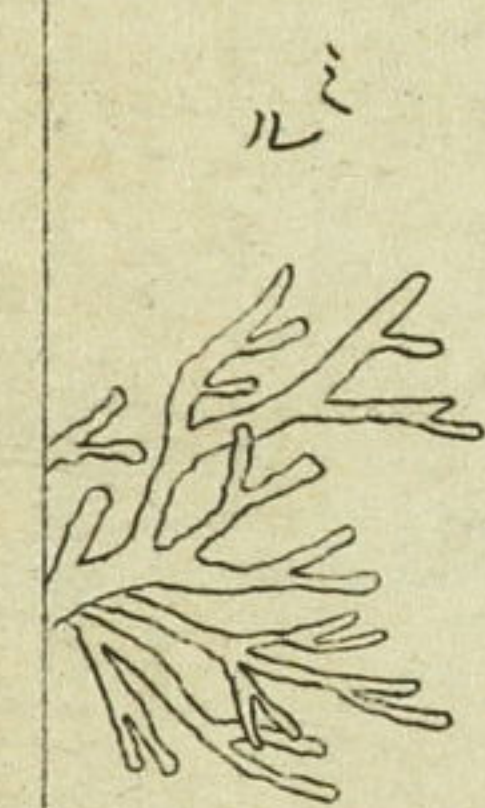
茗 草

根 芋

蕪 菜

海 松

心



蓮実飛

夕顔の實

青瓢箪

星 草

栗 穂

稻 葉



鶇

鴨

鴨

鶇

鶇

鶇

鶇

鶇

鶇

千 鳥

川 鳥

浦 鳥

海 鳥

花 鳥

鳥 鳥

鳥 鳥

鳥 鳥

鴛 鴦

▲正 歳旦 福引

餅の目末を福生
果といふ故に餅を
福と云ふ福引とて
餅も二人して引
おろす作りこい福引
事引是小始る小や

裏白連歌

三物連歌

三物俳諧

初商

初風呂

▲四 生類

みふふき

うきうき

郭公

山時鳥

不始帰

四多の四長

房々々々

當多々

意々々々

掃々々

時々々小若む

著 続月等

むきひて

な

鷹鳥ひや入

▲七 植物

いなもつち

室子早子

稲子花

とくくとく

多々

早稲

早稲

早稲

あな豆

隠元豆

西瓜

陰瓜

▲十 生類

犯考牛

房 扇

冷しむき

犯考小涼

むきへハ

木兔

みそ子

夜興引

柴漬

竹筍

細代守

幸木

幸籠

水祝

あひび

去年

今年

始

三ヶ日

乾坤

睦月

加んこ鳥

行々子

あひび

鶯附子

老鶯

乱鶯

蝙蝠

かきわり

蚊喰

飛蟻

蜘蛛子

南瓜

あひび

渋柿

あひび

野菊

蔞

あひび

あひび

芒



あひび

あひび



衣食

炙子餅

茶口切

正 乾坤 四 生類 七 植物 十 夜食

むらさき月 初月

大御月 初月

青陽 三歸

孟春 木簇

初芝居

初子ノ日

子日の抱

弔杖

卯つき

六日年越

・梯の葉 蛙

枝 出 蛙

蛭 蚱 出

蚕 子 蛹

かさめの子

初 鯉

うらわぬ

鹿子袋角

以下夏三日月 五ヶ月

螢

糸まき ちのまき

鬼 灯

草 花

あのみ草

あのみ草

唐か

辨慶草

小うや きのや

茅 萱

名前 かやふく

犬子草

若 菘

たなみり子

綿 とね

孫の抱 吹

薑

干 蕪 釣

干 大 根 釣

切 干

莖 漬

うき菜

うき菜

うき菜

以下冬三日月 五ヶ月

鰻 汁

海 鼠 腸

塩 鱈

貝 焼

納豆汁

蕎麥湯

ふろ吹大根

頭 巾

丸つきん 角つきん

人日 七日

七日正月

御連歌 十一日

十四日年越

上元 十五日

えね えね

えな 小四日

粥杖 四日

うらの木 うらんし

注連糸内

蝸 牛

かこむり てむり

蛭 蛭

蠅 虎

蚊

蚊

蚊

蚊

蚊

蚊

蚊

茅 萱

小うや きのや

名前 かやふく

犬子草

若 菘

たなみり子

綿 とね

孫の抱 吹

薑

塩 鱈

海 鼠 腸

貝 焼

納豆汁

蕎麥湯

ふろ吹大根

頭 巾

丸つきん 角つきん



△正

乾坤

▲四

生類

▲七

植物

▲十

衣食

やぶ入

細曳

左義長

とんど
こそとんど



吉ま上ル

廿日正月

あひま月

蚕

蛭

子

舞

水

青

鷓鴣

鴨

翠

飼

鶯

馬

鷺



午房引

糸

冬

芋

紫

暮

平

ぬの

皮足帛

紙衣

綿入

綿子

綿帽子

蒲團

布子

吉の類

柵卸

帳

舞御覽

傀儡師

春永

余寒

春寒

牙

凍解

通

鶉

鶉飼

鶉

鶉

鶉

鶉

鶉

鶉

琉球芋

真葛

葛

葛

葛

葛

葛

葛

葛

袷

厚

敷

小

紙

古

鴛

神

送

△正

乾坤

凍コウりリつツふフ

氷ヒ解ゲ

氷のつらみ
氷ヒ

残ゼンルル氷ヒ

こころみ
残ゼン雪セツ

春ハルのノ雪ユキ

名ナ残ゼンのノ雪ユキ

淡タン雪セツ

雪ユキ解ゲ

△四

衣食



水スイ鱧コリ

水スイ鱈コリ

魚イサ築イサ

やぶ
衣イ食シ類ルイ

更コロ衣イ

白うさぎ
初ハツ裕コ

初ハツ裕コ

△七

生類

初ハツ鷹トビ

初ハツ鷹トビ狩カゲ

初ハツ鷹トビ狩カゲ

鷹トビ祭マツル鳥トリ

十六日
鷹トビ祭マツル鳥トリ

鷹鳥ノ山別ハ七月廿五日カ
鷹トビ祭マツル鳥トリ

鷹鳥ノ山別ハ七月廿五日カ
鷹トビ祭マツル鳥トリ

鷹鳥ノ山別ハ七月廿五日カ
鷹トビ祭マツル鳥トリ

鷹鳥ノ山別ハ七月廿五日カ
鷹トビ祭マツル鳥トリ

△十

神祇

神カミのノ旅ツツ

神カミのノ苗タネ主ヌシ

大オホ社ヤシロ神カミ支ササ

御ミコト取トル越コス

達タチ广ヒロ忌イミ

興キョウ福フク寺ジヤ

金キン毘ヒ羅ラ祭マツル

維イ摩マ忌イミ

御ミコト命ノミ講コウ

法華意式

十ジュウ夜ヤ

聖セイ一イツ忌イミ

高タカひヒ溝コウ

神カミ迎ムカヒ

櫻オウゴン尾ビ虫ムシ供ク養ヤウ

公コウ事ジ故コ支シ

更マシ衣イ

馬ウマ追オヒ虫ムシ

冬より冬のはり
更マシ衣イ

ゆきけり
雪ユキ

雪のうらみ
雪ユキ

雪のうらみ
雪ユキ

雨アメ水ミヅ

以下春三月
雨アメ水ミヅ

霞カスミ

ハカミ
霞カスミ

雪のうらみ
雪ユキ

雪のうらみ
雪ユキ

雪のうらみ
雪ユキ

あそせ
帯オビ花ハナ衣イ

あそせ
帯オビ花ハナ衣イ

あそせ
帯オビ花ハナ衣イ

橘ダイダイ衣イ

煮ニ酒サケ

新ニホ茶チャ

古コ茶チャ

茶チャ詩シ

生ナマ節フシ

以下夏三月
生ナマ節フシ

之トキ先殺鳥不食似人食
初ハツ鮭サケ

之トキ先殺鳥不食似人食
初ハツ鮭サケ

之トキ先殺鳥不食似人食
初ハツ鮭サケ

むのさる
虫ムシ

むのさる
虫ムシ

松マツ虫ムシ

鈴スズ虫ムシ

響ヒコ虫ムシ

馬ウマ追オヒ虫ムシ

馬ウマ追オヒ虫ムシ

▲正

乾坤

鐘霞

長閑

嚴ウツカガ

糸巾いとほそひ

糸巾いとほそひ

陽炎カキヒ

暖アタカ

水みづ

水みづ

水みづ

▲四

衣食

新麥小麦切

麩小麦切

冷汁

煮冷

何なに

蟹かに

干かわ

干かわ

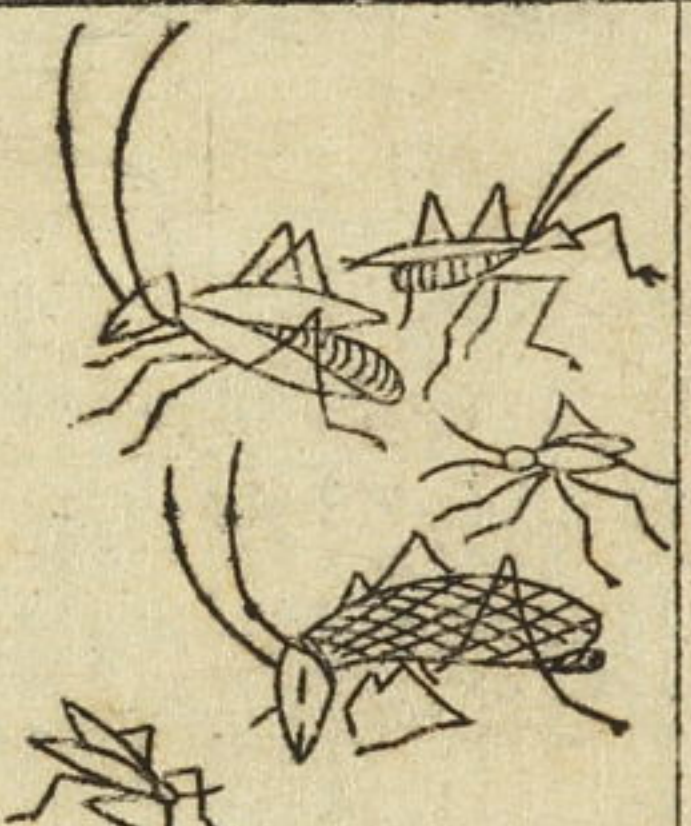
干かわ

干かわ

▲七

生類

子こ



竈馬かまご

促織オビ

蜻蛉トビ

はは

蝨シ

蝨シ

▲十

神祇

孟冬天子南度

御ミ

御ミ

御ミ



残菊ノ宴群れはちを他り

焦糟セウソウ

焦糟セウソウ

遲日遅日

佐保姫サホヒメ

春色ハルノイロ

山笑ヤマエ

東風トウフウ

春風ハルカゼ

木地爐キジロ

春ハル

霞カスミ

霞カスミ

干鳥賊カウゾク

塩鳥賊シホウゾク

鯽ウナギ

風爐カマド

神カミ

筑摩祭ツクママツリ

禰ニ



稻虫イネムシ

蜻蛉トビ

蟹かに

螿キリギリス

螿キリギリス

秋蟬アキゼミ

秋蟬アキゼミ

我われ

我われ

我われ

拜墳ハヒツツミ

射場初イハバシ

十一月イナウエ

乾カミ

坤ツチ

十一月イナウエ

十一月イナウエ

十一月イナウエ

十一月イナウエ

十一月イナウエ

▲正 乾坤

萬春樂

喜春樂

春鶯囀

落梅曲

梅枝歌

春柳歌

春竹歌

春草歌

春水歌

植物類

▲四 衣食

貴船神夏

住吉神祭

稻荷祭

大神祭

八瀬祭

山科祭

多賀祭

堅田祭

平野祭

▲七 生類

藻二鳴虫

簞虫啼

蚯・蚓鳴

秋子蝶

田子虫送ル

小鷹

小鷹

小鷹

小鷹

▲十一 乾坤

子の月

一陽

冬半

冬至

曆賣

髮置

芝居顔見世

子燈心

深雪

雪吹

子日孫松

七種

薺

若菜

磯菜摘

久世祭

龍田祭

山崎日使

千安天神詣

大津祭

當宗祭

松尾祭

梅宮祭

杜本祭

乾坤

復月

仲冬

會星

鶯

鶯

七八月以死鳥為餌
取者呼謂鳥屋持
謂鶯也竹芭蕉翁伊
泉子子名也所トカ
シヤハハカトルル所
ト云コトナリ鶯鳥雛
已雛業自求食時
以総テ捕来是ヲ
謂網掛又曰荒カカ

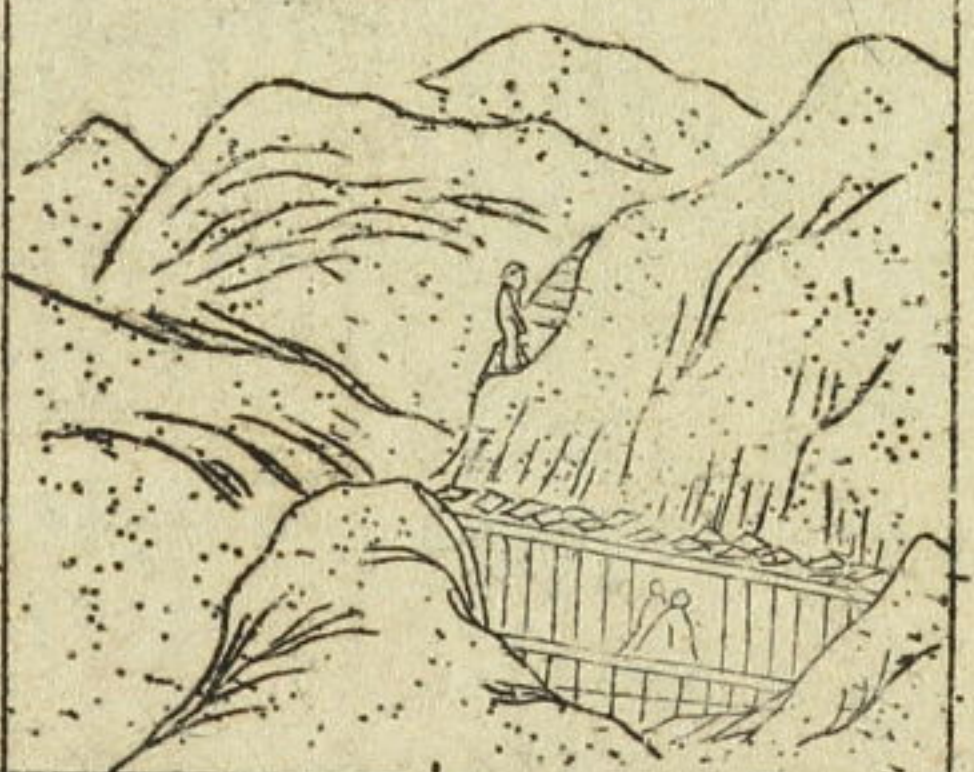
兄 鷄

小 隼

雀 賊

サシエツサイ大サ如鳩ハ
イナカ同

おきたひき



かひき

雪子

雪やけ

雪垣

雪竿

いそあわのれ

水入菜

あま菜
ふ代あま菜

あまのほむ

根白草

セリ

嫁菜

嫁がてき

おんあかぢ

鶯菜

萱宮祭

中申

御影祭

中申

みあまのり
か茂のあま

國祭

中申

山王祭

中

葵祭

中西

あひら

あひら

りうけ

りうけ

御形

もろろ

上野夜御起下野茂
列南あまの祭

撫鷹

カハリ

青鷹

カハリ

三歳ニシテ易ラモロ
カタカハリト云

網掛鳥

鳩吹

人鳩のまゆゆとて
多をも合せて宿の
声のやうにけなす
是は鳩を吹く
ともはるるを吹く
ともはるる

鶉

けうつ

けうつ

けうつ

下 蘭

薑

蘘

土 華

罌子若葉

落 砦 薑

若 草

若 草

若 草

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

さき形めういふ
さきふく葵桂のまろ
うつらまろまろ故いふ
俗いふ葵祭といへり
はまつりといふも
このまつりありこと
なり

けうつ

けうつ

けうつ

けうつ

けうつ

けうつ

けうつ

けうつ

けうつ

けうつ



雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

雪 佛

▲正 植物

松花	梅	木芽	野大根	十回花	種	畑打	田	柳
松花	梅	木芽	野大根	十回花	種	畑打	田	柳
松花	梅	木芽	野大根	十回花	種	畑打	田	柳

▲四 神祀

中山祭	近江八幡祭	向日明神祭	水屋能	山崎祭	戒檀堂開帳	花摘	夏入	灌佛
中山祭	近江八幡祭	向日明神祭	水屋能	山崎祭	戒檀堂開帳	花摘	夏入	灌佛
中山祭	近江八幡祭	向日明神祭	水屋能	山崎祭	戒檀堂開帳	花摘	夏入	灌佛

▲七 生類

鹿	小男糸	若魚	若魚	若魚	若魚	若魚	若魚	若魚
鹿	小男糸	若魚	若魚	若魚	若魚	若魚	若魚	若魚
鹿	小男糸	若魚	若魚	若魚	若魚	若魚	若魚	若魚

▲十一 植物

氷	氷	氷	氷	氷	氷	氷	氷	氷
氷	氷	氷	氷	氷	氷	氷	氷	氷
氷	氷	氷	氷	氷	氷	氷	氷	氷

柳	田	畑打	種	十回花	種	畑打	田	柳
柳	田	畑打	種	十回花	種	畑打	田	柳
柳	田	畑打	種	十回花	種	畑打	田	柳

嵯峨祭	清水地主祭	甘茶	花	灌佛	夏入	花摘	戒檀堂開帳	山崎祭
嵯峨祭	清水地主祭	甘茶	花	灌佛	夏入	花摘	戒檀堂開帳	山崎祭
嵯峨祭	清水地主祭	甘茶	花	灌佛	夏入	花摘	戒檀堂開帳	山崎祭

江	沙	小	九	鮎	九	鮎	九	鮎
江	沙	小	九	鮎	九	鮎	九	鮎
江	沙	小	九	鮎	九	鮎	九	鮎

霜	霜	霜	霜	霜	霜	霜	霜	霜
霜	霜	霜	霜	霜	霜	霜	霜	霜
霜	霜	霜	霜	霜	霜	霜	霜	霜



▲正 植物

川流抄

川せり子

五折

あこり抄

門の抄

めりり抄

おゆ抄

おゆり抄

柳撰

柳りり

椿

玉つんき

いせつん記

白玉つん袋

つん袋

花入つん袋

野老堀

▲四 神祇

練供養

十四日

神衣祭

イセ

土塔祭

十五日 天王寺

千團子

十五日 三井寺

日光祭

十七日

和哥祭

日

花供

廿日 吉野

大ゆの衣代夜替る

此下夏三月は

安居

▲七 生類

芋むし

案山子

あやうの坊

漆水

引板

なる子

鳴帛

焼帛

鎌帛

秋の狩場

▲十一 生類

新生姜

あやうの坊

ぬくろ鳥

寒苦鳥

佛経二日大雪山
二有鳥共鳥夜
苦三寒鳴笑
苦實身夜明造
景明入今日
不知意尤不知
明日何故三會
安禪虫常身

トコ山

葵

山

慈

姑

鳥

芋

苜

獨

活

三河

芥



結夏

复行

复花

夏子

一夏

阿者



夏行ハ即安居ナリ安
居ハ出家終行ヲ殿ヲ得
テ私ニ任ス故ニ安居ノ
間他ノ化益ヲ専ニ勤テ三
界菩薩等ニ回向スルニ

不食類

刺鯖



バサシ

蓮み飯

朝茶の湯

焼米

あり麦

杜父魚



鯨

鯽

鯽

雜菜摘

防風

山ふんちん



生類

猫子戀

つと猫

猫こころる

白魚

魚氷ニ上ル

獺魚ヲ祭

此下冬三月

こころる

百千鳥

鶯

白ひより

重衣者

種まきより

ふちみどり

黄者

菅笛

さなるより

むじん者

菅子落草

ふちみどり

在家七赤志アル草ハ終夏迄旬ノ間飲酒食肉ハ酌聖経ヲ讀誦シ書寫花ヲ供養スル至先祖ノ聖具存ニ縁無縁ノ菩提ノ為ニスルノ在家夏行ヲ去リ他國ニ勝リ盛衰記百ノ旬安居ノ供花ハ歐州西塔狀迦堂ヨリ始メテ此ニ至ニヤ

公事故夏

青簾

てのほろ水佛伊廉と掛らるる

扇拜

若るる扇と佛ト下トコころる

五月

常神

阜月

下五月

月見月

掃月

語月

梅五月

仲夏

方半

盛夏

端午

午節

蒲節

父節

重午

薬子日

ぬる麦

踊衣俗

踊帷子

志のふ衣

神釋

北野御手洗

同社煤拂

池坊立花

本願寺立花

同御燈籠

此下冬三月示

こころる

鷹狩

鷹野

鷹匠

大鷹

け鷹

兄鷹

弟鷹

阜鷹

狩場子鳥

狩場ノ雉子

追鳥狩

狩杖

列卒繩

鷹犬

ぬる立鳥

鳥さけひ

鳥立をさくふ

鳥子落草

木むすひてお ホウシ

鶯ウ

鶯ウ ウツリカケ

雲ウ 雀ウ

ウツリカケ ウツリカケ

駒ウ 鳥ウ

水鳥ウ 囀ウ

鳥ウ さつウ

鳥ウ さかウ

罇ウ

熾

饒ウ 塊ウ

ウツリカケ ウツリカケ

菅蒲太刀

神水

神ウ 麩ウ 製ウ

印ウ 地ウ

竹ウ 醉ウ

虎ウ ガウ 涙ウ 雨ウ

入ウ 梅ウ

門ウ 茶ウ

盃ウ 蘭ウ 盆ウ 會ウ

盆ウ 供ウ

魂ウ 祭ウ

聖ウ 冥ウ 祭ウ

玉ウ 抛ウ 棚ウ 徑ウ

ウツリカケ ウツリカケ

枝ウ のウ 葉ウ

枝ウ のウ 葉ウ

技ウ のウ 葉ウ

ちのの草

茂ウ のウ 草ウ

ぬまてまハ高き持し
おいてまてまはるる
うくまてまはるる
むそら小ま茂いお
又ぬまてまはるる
小高ひてまののけ
ま茂いまのさあひ
とハそれまの高き
茂よまのなり又
持人の声まを
てまのまをま
まのまのま
茂まのまのま
高きのまの茂

衣食類

鱈ウ

蜆ウ

福ウ 子ウ かウ

ウツリカケ ウツリカケ

鏡ウ 関ウ

具足鏡割

節振舞

小豆粥祝 日五十

町ウ 汁ウ

梅ウ のウ 雨ウ

さつウ きウ 返ウ

ウツリカケ ウツリカケ

五月ウ 晴ウ

舟ウ のウ 風ウ

黒ウ はウ へウ

ウツリカケ ウツリカケ

半ウ 复ウ 生ウ

复ウ 至ウ

根ウ のウ 葉ウ

喜ウ 瓜ウ 喜ウ 柿ウ

喜ウ 柿ウ 抛ウ

掛ウ のウ 葉ウ

迎ウ のウ 火ウ

送ウ のウ 火ウ

墓ウ 祭ウ

复ウ 書ウ 納ウ ヲ

内ウ 裏ウ 御ウ 燈ウ 籠ウ

揚ウ 灯ウ 籠ウ

衣食類

袴ウ 着ウ

かづウ 子ウ 初ウ

何ウ のウ 葉ウ

みウ のウ 葉ウ

玉ウ 子ウ 酒ウ

▲正 衣食

鶴子庖丁



廿日團子

葩 剪

干 蕪

干 大根

子 日衣

柳 衣

梅花衣

以下...
マシマシ

干 鱈

酢 蛤

まろゆ

木ノ芽漬

山 椒皮

鹿 尾

海 雲

若 和布

▲五 植物

芒 種

植物類

菖蒲膏

蓬 膏

あしちやく

あやめく

あしちやく

六日菖蒲

菖蒲湯

蘭 湯

宗祇抄ニ曰キソヒカ
リスルトハ四五月上
葉狩トテスルニ

競 駈

薬草芍

草 合

るまゝくゝらひに

草

草

草

▲七 神祇

物の終り
きりこ

まはり
灯籠

焰 廣参

三井寺女詣
日五十

安 居 頭

大文字火
山 東



鳥居火
ア多コ

妙法乃火
松ヶ崎

船の火
舟 園

水燈會
十六日
黄ダ



宇治黄粟山へ浮二百六
十ヶノ燈ヲ宇治川 殖流
遂風テ散乱シ恰若螢
火其灯以白紙 造小蓮
内ニ収メ文心

▲十一 衣食神祇

生 姜 酒

神 秋

甲子祭

相嘗祭
郊 上

宗 像 祭
町

三島酉ノ市
中 酉

北 祭
下 酉
カモ

日吉臨時祭
中

鵜 祭
ト

吹 革 祭
八 日

鉢 叩



空也忌
十三日

道陸神
十六日
天王



▲正 神狀

海苔

其のり
あじかり

其のり
あじかり

加四のり
さくらりのり



祇園削掛 元朝

えん園の一天に祇園
のわらにて松の木を
ついでついでに
あじかりて大い
老のためは月の中
るん

紀事ニ云晦王子ノ如
祇園社神削灯燭

之外悉滅火暗
余詣令愁而
付言他人服疾
令雖用其声知
子事之又恨く是
懺悔儀而勸善懲
惡之微意總州ノ
葉ニ笑ヒ亦ルイ
ナリ

毘沙門功德經

船玉祭 二日

天狗宴 四日

▲五 植物

蓬 菊

花のり

真菰 菊

高菰 菊

田 植

ま乙女
ま菰

さなへ
ま菰

ま菰
四極のち

菱 花

川 骨

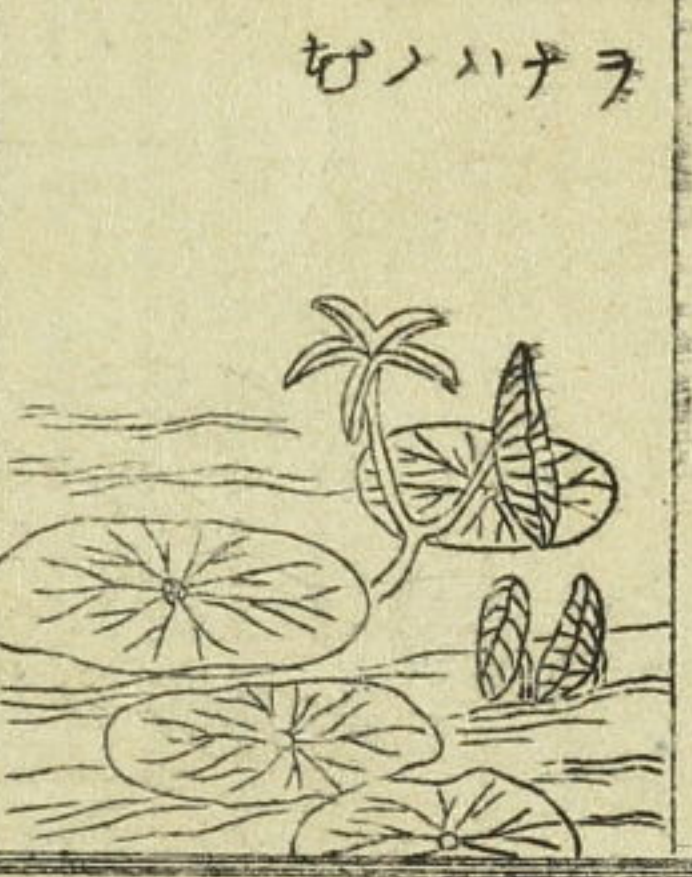
藻 花

藻 花

藻 花

萍 花

ぬたハの花



花さう 菊

花あや 菊

▲七 神狀

經 木 流

岩倉燈籠踊

長谷燈籠踊

松ヶ崎題目踊

御靈御出 十八日

文覺忌 廿日

地藏祭 廿四日

六齋念佛 四日

あごご火

御射山祭 廿七日

逆乃峯入

相撲使

公事故夏

揪子

八月

乾 坤

葉 月

▲十一 神狀

祭ノ日一村ノ童共リ往
来ノ人ニ銭ヲ乞テ祭ノ
資料トス銭ヲ乞テ祭ノ
リ留テ終ニ繩ヲ以テハ
卷ヲラストニ依テ此
支ヲ知ル人ハ高西
ニ今日以處ニ通ルセ又ト
唯壞ノ冥河飛騰ノ故テ
テ通路ノ煩ヒナキナリ

大師講 廿四日

春日御祭 廿七日

春日後日能

報恩講 廿八日

東三條神樂

神 樂

里 神 樂

小 忌 衣

小 忌 の 袖

山阿ゐの袖

阿 知 女

神 樂 哥

神 遊 女 奇

かゝ神 祝 小

▲正 神祇
▲五 植物
▲八 乾坤
▲十一 神祇

箕面富七日

玉セリ三日 八日



初寅茶クラマ

畚おろし

紀事ニ云正月 初午日師々鞍

藪苜蒲

紅花

未つむ紗

鉄線花

忘草の屯

くまんととの紗



紫陽花

十月 秋風月

月足月 極月

厂来月 仲秋

桂秋 清秋

深秋 南呂

八朝

田面祝

田の寡いマハ たるむの日

繪行畧

千歳

早うた

採物カサ

枝サカサ

弓サ

弓太刀

ほあむさこ

斤折葛

諸万右ハ手にえりのを 手ハどりおとす

大前張

きいそりニニ入

抱ふたにその

お水おなの

おさもこ

小前張

あままあ川

あけひれと因

いそはなこ

大うらつ

あつさるマじの紗

百合花

さかりむあかり

うるはかり核かり

なしくさかりうのこま

鬼かり

母かり

雪かり

朝露草

草石蚕

馬二語 初午系ト 鞍馬近處往 還路辺ノ西ノ 山岸ニ高構カ 暮ラ自女内著 繩下葺路辺系 詣ノ男女有欲 求燧石者則初 裁普トキハ共所 著之繩堤上之 志女錢ノ多少命 入辨石再下之是 謂賣下

鴛かへ 七日

住吉初卯 サウ

△正

神祇

菜摘川神夏七日

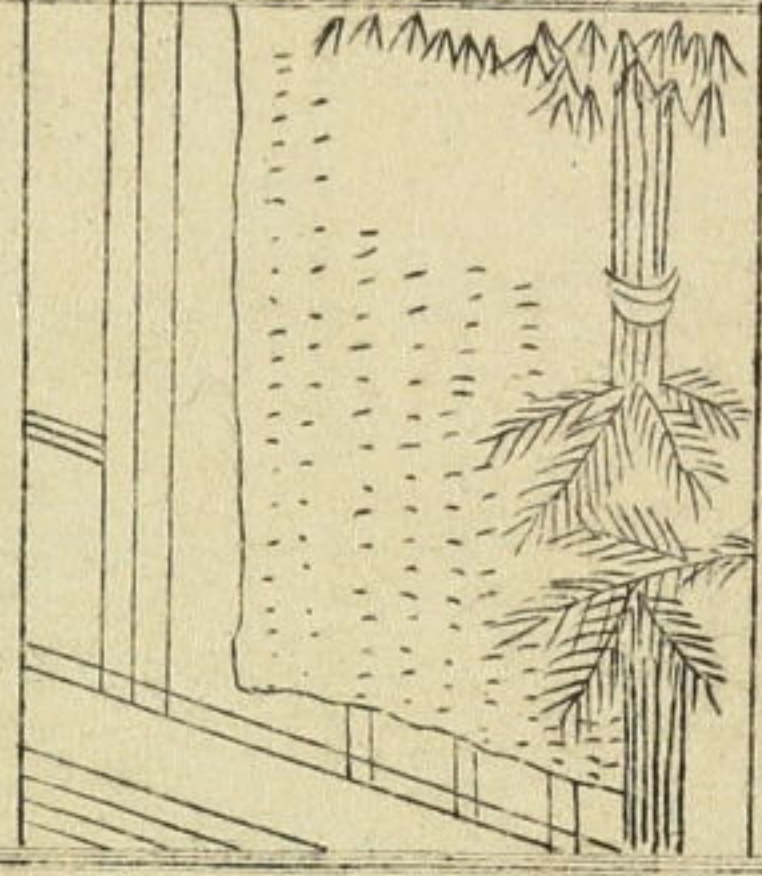
御齋會八日

御修法十四日

大元師法十四日

嚴鳥祭下

居籠九日



十日蛭子

△五

植物

かやけり子

蛇床子

复菊

朝菊

石竹

瞿麥

常夏大和松子

十薬袖ぬれその

△八

乾坤

朝寒秋の夕暮

肌寒秋の夕暮

うそき

やそき

暴風スサマ

水初テ涸ル

雷屯納ム

△十一

神祇

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

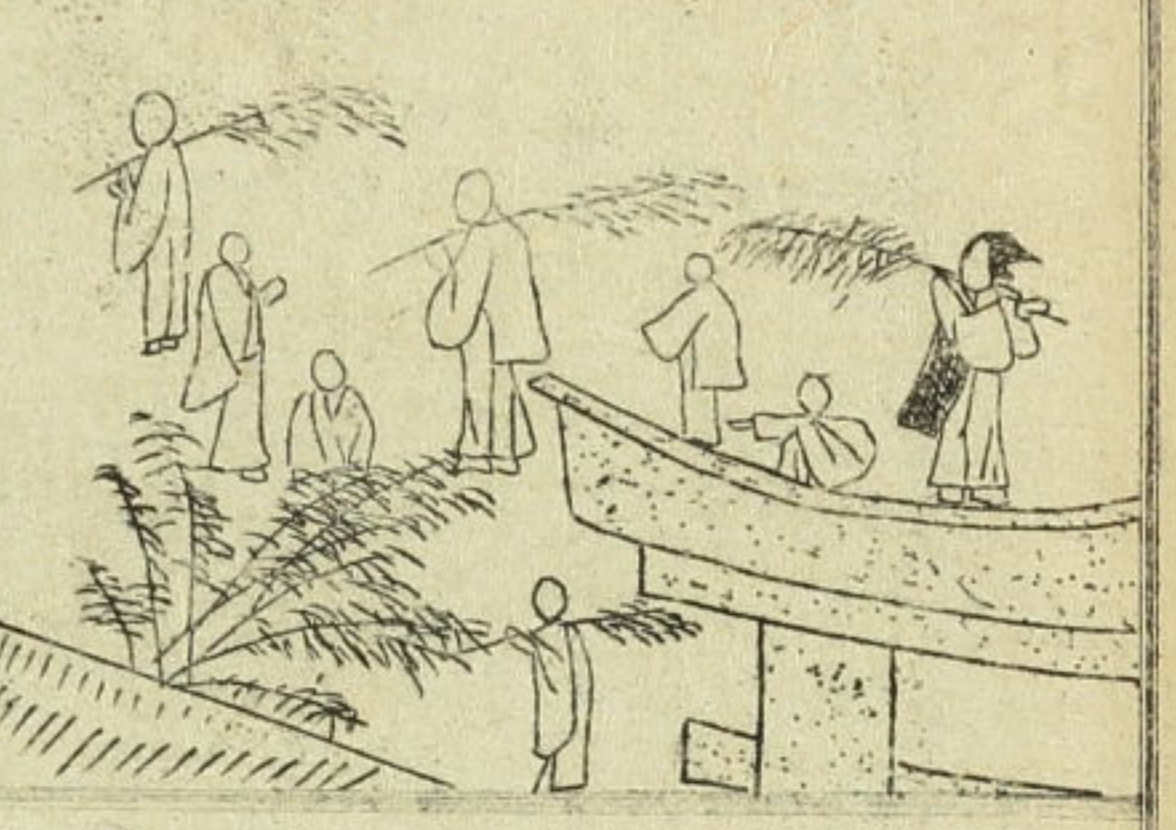
星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす



住吉御弓十三日

平岡御粥十五日

三保祭十四日

常陸帯十日

常陸帯十日

常陸帯十日

常陸帯十日

常陸帯十日

常陸帯十日

天南星天南星

石菖石菖

かぐむらぎかぐむらぎ

南天南天

さくらんぼさくらんぼ

未央柳未央柳



秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

秋夕秋の夕暮

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

星訊きりりす

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

日陰日陰

公事公事

曆奏一日

五節舞中

▲正 神祝

ノ各ヲ書テ折返シテ
ウララハ隠シテおつ祿
匣ニ結ハスルニ
ワロカルヘキハナヒクニ
結ハレヨカルヘキハ掛帯
ノヤウニマロク結ビル
ナカルト云ナリ

遊行扎切 十六日

獅子頭神夏 十四日

吉田清菰 十九日

女節分

厄神祭 十六日
ヤハタ

蕙民持来

昔ハ八幡の厄神の
亥ヲ括テ蕙民持
来のお伐もくと免
ゆかる云

御忌 十九日
廿五日

法然上人の忌云
知恩院

繪踏 正分三
月三日



切支丹ノ仙像ヲ踏セ
テ邪宗門ノ敗トス
今猶アリ尤九州ニ
限ル事三月三日云

▲五 植物



柘子花

金銀花

柘子花



さつき躑躅

合観花



栗花

ざらろの糸

樗花

ぐんだんのむ

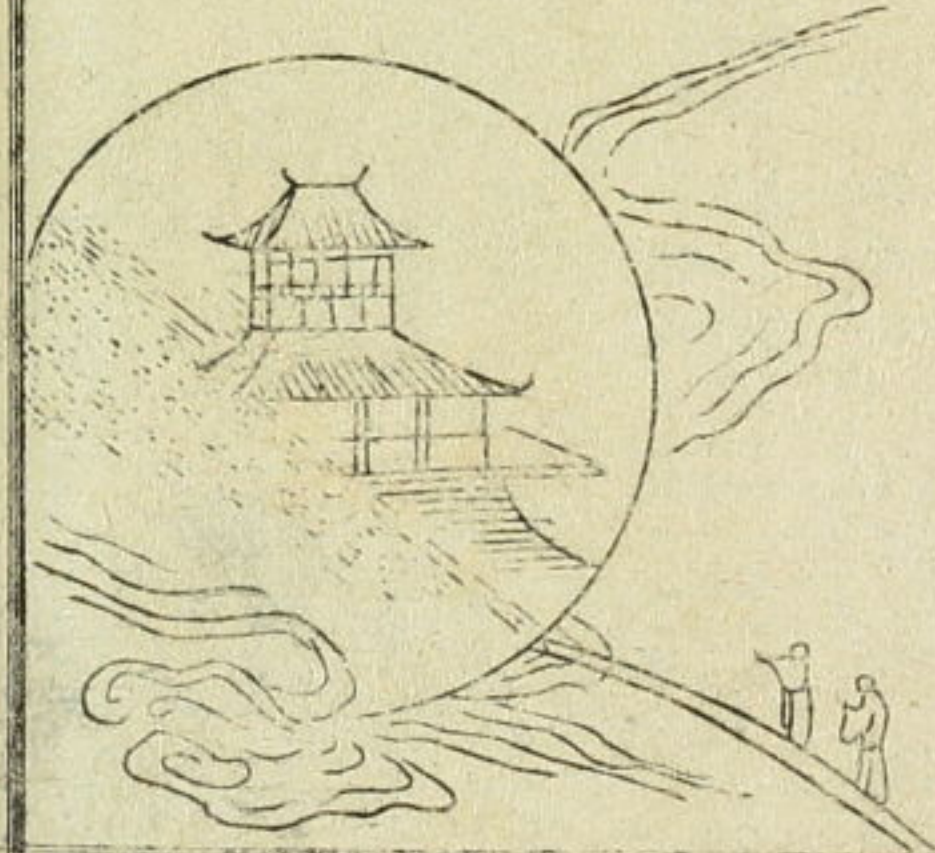
生胡桃

▲八 乾坤

待霄月 名言キ月

霄不知

此下秋三月平



さやらの月 月さやら

月のうつ かつら男

かたの糸 きのうけ

音の光 月の都

音月 三日月

音明 強月

音強月 月の弓

上弦 月の弓

下弦 月の弓

月の若 月の若

▲十一 公事故変

帳臺の試

立節時天子
時産くし出脚
時産衣小指書
お免し一何ふ
天子さく一ぬき
お免し一何ふ
外には一と云

童女御覽

新嘗會

昔ハ八幡の初穂
お神玉奉りて
お美へひり
数十二ニ云

豊明展

昔ハ八幡の縮後神
小てまつるをぬひ
てまつるをさく
ぬし下小り物ふ
ぬし下小り物ふ
る

狩子使

昔ハ五郎の西ノ
狩ハらん 夷神
狩子なとをさく
は供の會
残りり此使とハ
る云 昔後と云
は指と云いへり

公事故事

二宮大饗

東宮中宮の相礼

臨時客

関白御用

朝靱

上皇へ初参り

叙位

位階を叙せらる

糝

植物

栗实



杏子

青梅

楊梅

乾坤

月待

立待

居待

伏待

更待

廿三夜月

玉兔

乾坤

鎮

十二月

乾

乙子朔

季冬

暮冬

乙子朔

七種のあけの

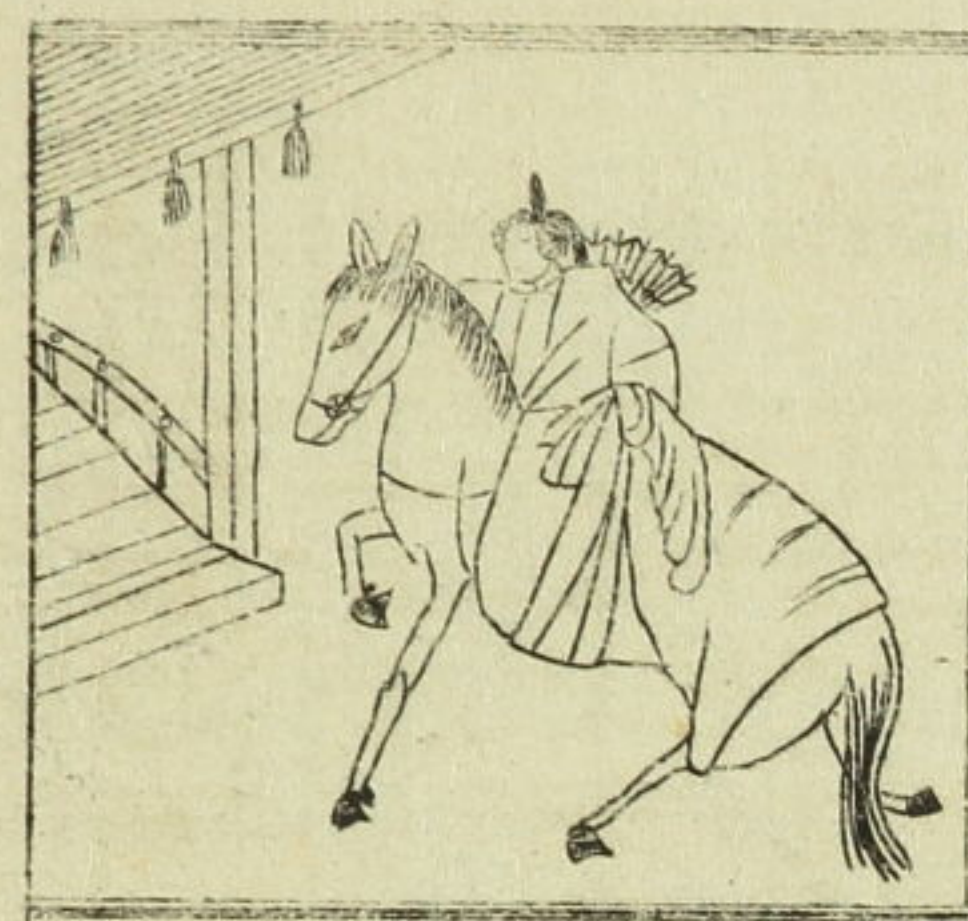
女叙位

女の位階叙

女王祿

女王祿

白馬節會



李

枇杷

青柚

瓜花

越瓜

胡瓜

茄子

栗蔞

きび

蔞

常城

是仙女ノ名之仙菜

金波

氷鏡

水鏡

銀盤

星月夜

星の光の事

植物類

八朔梅

小寒

大寒

寒入

寒色

寒さ

寒月

臘日

臘

臘梅

寒梅

▲正 公事故事

▲五 植物

▲八 植物

▲十三 生類

杏言せち

五月七日に杏言せち

をんれん年事

物元をのそく

いふふみの物

り仁明の御門

列之年正月

楽裕平お

御弓 七日

外記政初 十一日

縣召 十一日 十五

諸西の下友平

官修とくもか

御薪 十五日

踏哥 十四日

男た 十六日

女た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

男た 十六日

胡 廣 蔴

稗 蔴

蚕 豆 引

豌 豆 引

菟 苣

若 竹

早 松 茸

何 の ぎ

竹 植 日 十三日

和 布 苳

何 の 苳

生 類

蟬

鶯 音 入

初 紅 葉

名 の 木 散

梅 嫌

木 犀 花

桂 の 花

漆 の 花

銀 杏

ざ ろ ろ

葛 根 堀

藍 の 花

山 何 の 苳

芙 蓉

牡丹 分 根

芍 藥 分 根

敗 荷

屯 屯

早 咲 梅

探 梅

早 咲 梅

寒 筍

早 咲 梅

探 梅

早 咲 梅

寒 筍

孟 宗 竹

箕 和 田 鯉 取

寒 鯉 取

八 目 鱧

鵲 巢 残

衣 食 類

乙 子 孫 餅

藥 食

鯛 味 噌

水 鮓

寒 造 酒

寒 造 酒

寒 造 酒

寒 造 酒

寒 造 酒

寒 造 酒

寒 造 酒

寒 造 酒

寒 造 酒

寒 造 酒



▲正 公事故事

葭灰飛入立春

葭灰を飛入る

春盤円

生菜円

木兆符円

枕扱仙木

神茶

鬱壘ルイ

枕扱を下のりしき
凶鬼を拂ふはし
なひなり

▲五 生類

水鳥ノ巢



鳩浮巢鳩ハ静

水雞

鴨子

鴨子カモの子

諸鳥毛草カユル

羽跋鳥

煩ガ鷺セ

羽ぬけ鴨

鹿ノ子

▲八 植物

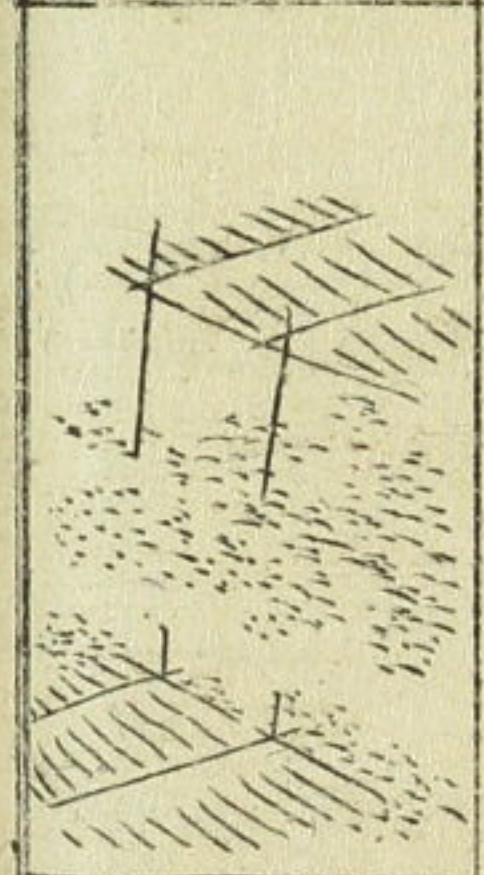
紫苑あむら

あむらに
鬼のちこそ



花野

宇治花園



縷紅

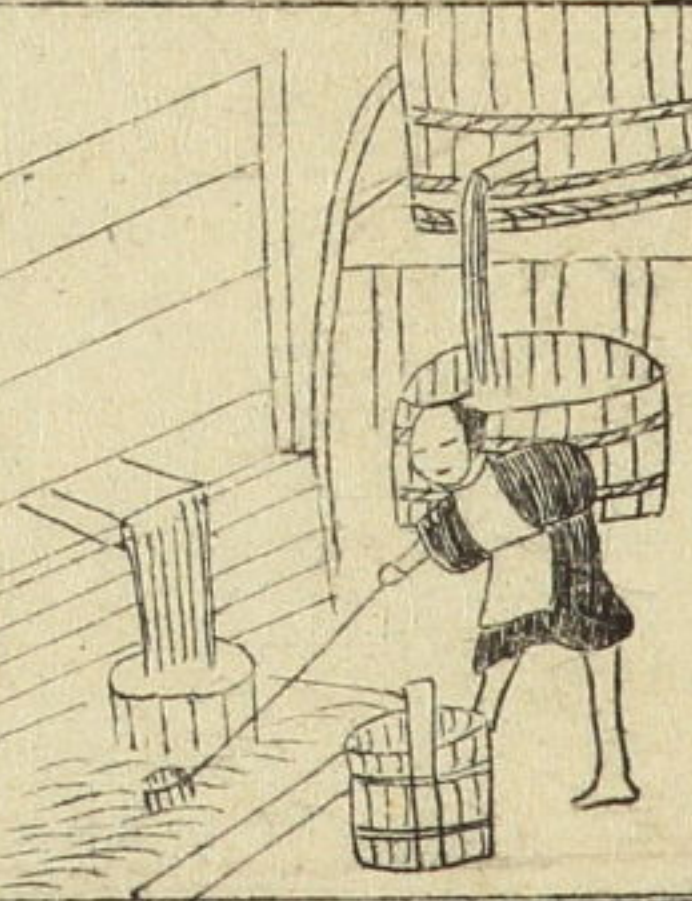


水引ノ花

白粉ノ花

檀持花

▲十二 衣食



豆腐水ル



药弱水ル

粥施行

こけらひやろ
と町才と若ひある
くま

神神

寒垢離

寒念佛

御國忌三日 天智

崇福寺にて行ひ
朱鷺二年より初る

臘八



天穿廿日

穿餅とつふ

もろこしに赤餅
煎餅と糸より
つるきあつとて
くま

二月

神神

手あらし

梅月梅つ

さしの月
小まき月

梅月梅つ

雪解月

▲二 乾坤 ▲五 生類 ▲八 植物 ▲十二 公事故事

令月 仲春

春半 中和

花朝

二日灸

臘月

お不ろ龍

おやろと斗

初霜光

しふびり

初雷

獸狩

照射

火串

まつと

どろしといふハ夏の
おくまはほくしとい
ふお二火をいし
て山中のいさきも麻
夏まに日茂てん金
もこうかていさきも
もるまはあつたてん

露草

目子 花

カントク



リユウサ

金剛草

こはつてん

鳥頭

臘八粥

最勝寺灌頂

佛名

大徳寺関山忌

齋宮繪馬

めかりは神更



公事故事

かつけ綿

貝寄風

芝居二の替

出代

社日

社日の雨

凡巾

いびのり

驚蟄

たてあがる

植物類

小鱗

蛆虫

蠻虫

蛇衣ヲ脱

蛇ハ鱗

蠅螂生

衣食類

粽

あしちまは

笹ちまは

黄蜀葵花

三七の花

雀麥

雞頭花

芳けい

鳳来紅

もろこし

花きき

尾花

芒花穂

御髪上

天子の髪のおまが
浅たまはり

髪とまり

荷前使

小使にて天子の
いさか

下下此

幣車とまり

追儼

鬼ヤ一ひ

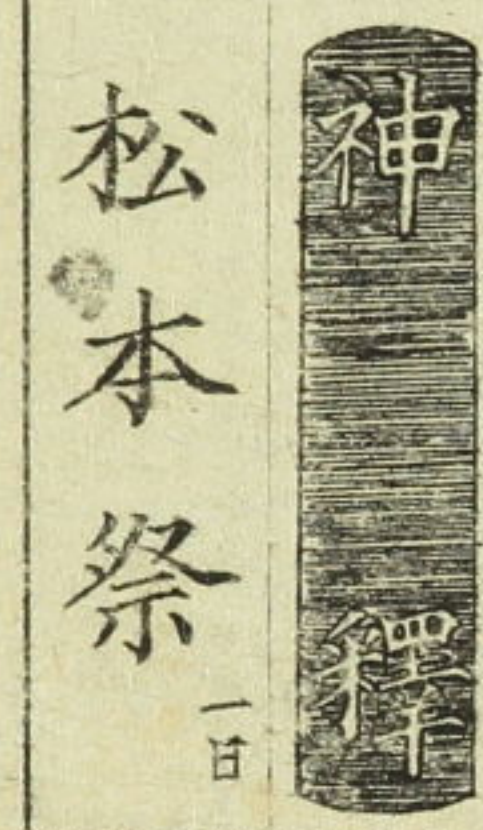
初花 花待 催花 初櫻 糸櫻 彼岸櫻 紅梅 八重梅

座論梅 黄梅 接木 杓杞 五加木 接骨木花



柏餅 苜蒲酒 蓬衣 撫子衣 帷子 苜蒲帷子 菖蒲巾 羅 單

單羽織 辻花 晒布 布 神 松本祭



木賊 芍 何の子 堀



草藤 濱ゆふのむ 蘆ノ花 澤桔梗 水何ふひ 竜膽

歳暮之詞 師走 事けめ



節季 煤をまき 餅搗 餅花 餅むろ 米何ふひ 節分

鴨 肺花

苗 代 萁

苗 代

種

種 蔣

種 小き白

種 おろし

種 ひし

種 井

菜 花

菜



加茂足揃

加茂競馬

藤森祭

生玉やきめ

大津新宮祭

宇治祭

室 祭

今宮祭

両社祭

有かり日

鶉 草

藥 堀

苦 参 引

たしやこ引

新 蓋 草

蓼 ノ 穂

馬 蓼 ノ 花



多越の秋浪舞の
奉子ドラゴとて
海崩をこまらふ
ちりきり中も
やいってあらく
なり

柘 さ す

鯛 さ ん

薺 花

大根 花

若 紫

虎 杖

草 芳

水 葱 摘

三才圖會又圖ニカ
ケル賞花沢枯梗
リ水沢ニ生ス甚厚
ク葱姑ニ似タリ夏
秋 碧花ヲ開家
葵トル沢唐梗ニ
云ナリ糸切齒花

犬 蓼 ノ 花

蕎 麥 ノ 花

車 前 子

苗 香 ノ 実

菓 花

烏 瓜

荔 枝

通 草

大原 志



住吉御田植

村上天皇は此國
忌之國忌トハ
天子の御忌也
甲各町ナリ其
大内は故ナリ又
之用阿まきハ行ハ
るるも阿まきハ
りて各各阿り

宝 船



豆 打

貳 花 札

むくの枕

厄 拂

ハ晩夏ヨリ秋カゲテ葉
水ニナキトキトキトハ
ハノ若葉ノ時ヲ云

蕨

さきこりび
かきこりび

ほろりちり

狗脊

蒲公英

つらな

蓮根堀

き極ル

藍蒔

麻蒔

青蒔

種芋

杉菜

松菜

菊今ル

菊苗

藪蕎麥

角蘆

あいの
あいの

ヨリヲハラシト云
者ヲ守護シ玉
フトテ種ヲスルモ
別テ出鱈目スト云

山田御田植



石槌山詰
伊予

富士垢離

公事故変

騎射
五日

おのふ

弓といふ

菖蒲興
日

菖蒲の東西ハ興
おまゐる

菖蒲机

興業乃より
おまゐる

引折日
三日

右もの
あつちうひ

右もの
あつちうひ

あいの
あいの

アケヒ花ハ冬ナリミ
ハ秋ナリ

菱花

種あまび

種ふくべ

大根蒔

菜種蒔

うし蒔

ち蒔

胡瓜蒔

小菜

のひり菜

はまみ菜

間引菜

中ぬき大根

粟蒔

秬蒔

稗蒔

蜀黍

やらかし

年の忘

年の市

神折鋪賣

穂長賣

標葉賣

葉竹賣

かや
うちくり

かざり招き

門松のとらむ

年々り物

年木樵

と一本

衣配



衣配を楽なく
小定まじり時
あつちうひ
喜我ニ冬秋の時

▲二 植物

芦の芽

蓬 摘

鬘 草

燒 野

燒 野々芒

芒

刈生の芒

切生の芒

荻の燒原

同 若葉

萩若葉

蕪若葉

畑や

山や

芝や

野を燒

葎

蒜

のひ

あさつさ

▲五 公事故事

三日月よりいかにやまて
九月をいかにやまて
て高射あり
六日

艾 虎

艾人 蒲人

薬 玉

長令綵

五彩糸

續糸綵

▲八 植物

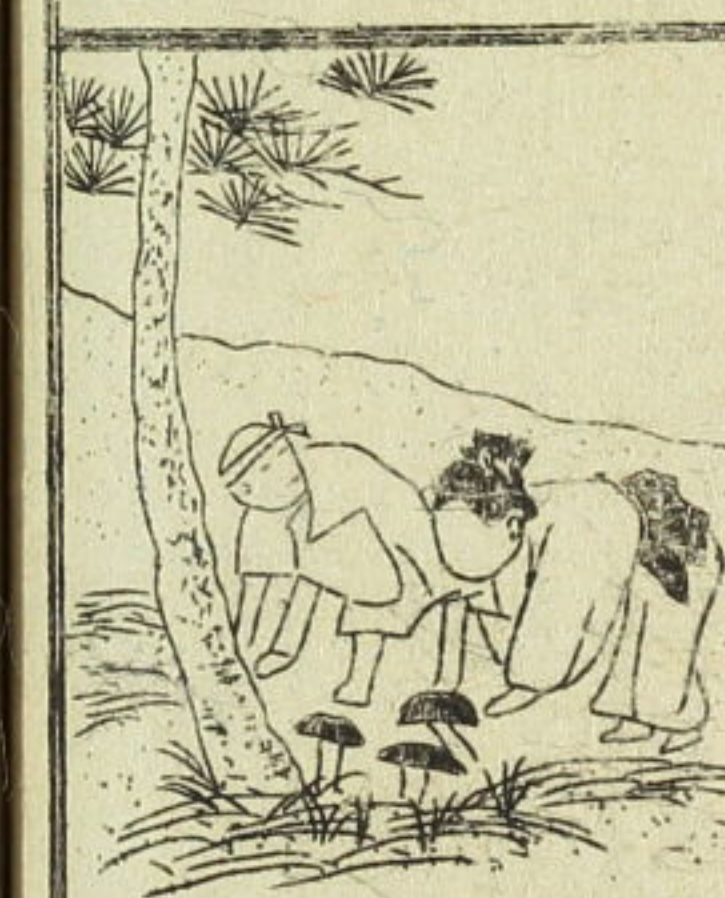
玉蜀黍



茸 茸

松 茸

茸 茸



▲十二 歳暮

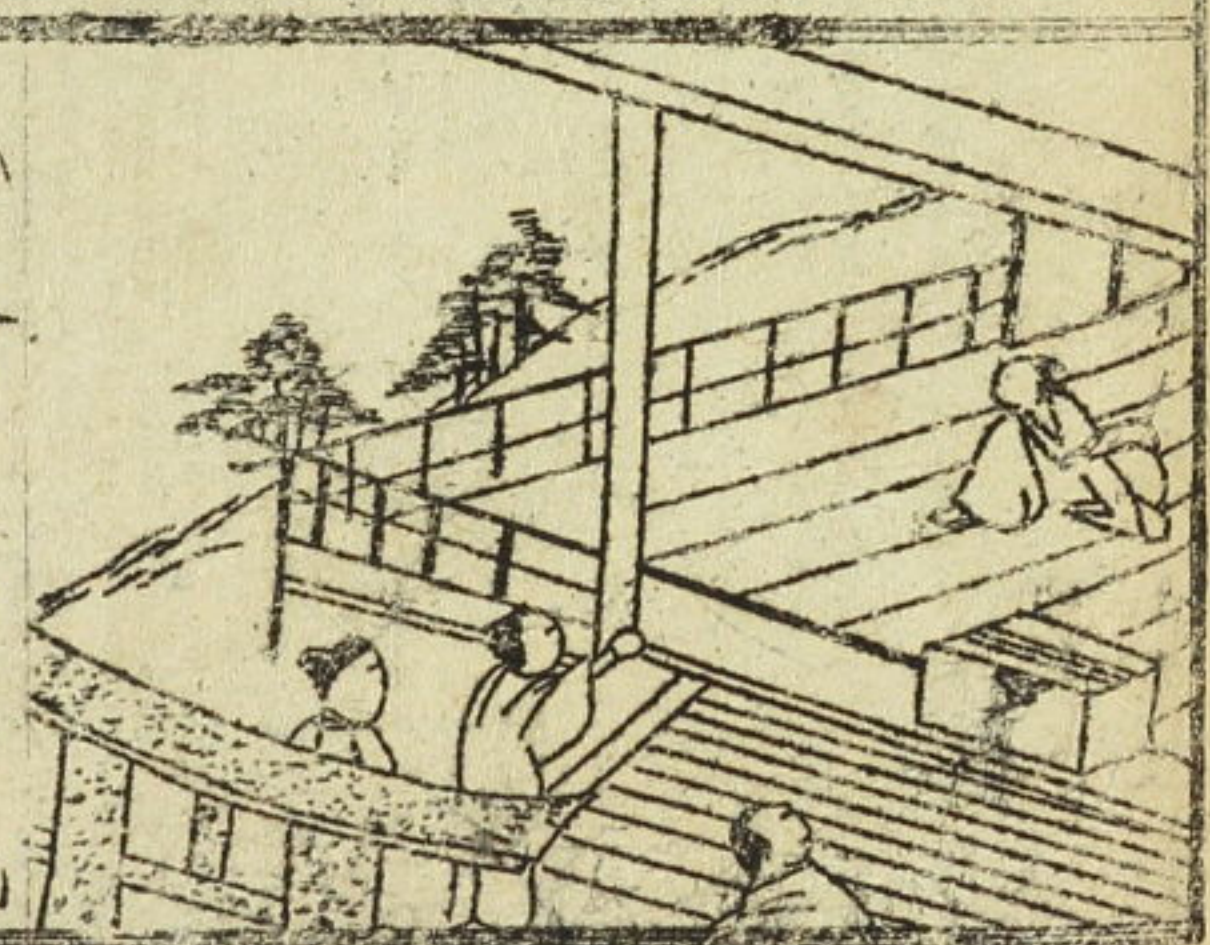
あり物... けし... する... 祀り... たり... おも... 養老... 免て...

年内立春

吉田大拔

大原や

内侍所神楽



五條天神詣

古あよみ

曆巻納

巻をりる曆

生類

▲二 生類

燕 はむく

つむのこころ

雉子 ひばり

帰雁 あへる雁

少へゆくア

いぬの居

アの名跡

アの名跡

アの名跡

負鳥

かろよる

たろよる

松毛鳥

雀子

乃子

引鴨

引鶴

鳥子巢

公事故吏

▲五 公事故吏

飛印符

赤靈符

鳥車

競渡

粉團

滴粉團

たへこのふるよ

おるふく

松の板

白園

白園

白園

六月

水無月

風待月

為夏月

林鐘

九夏

植物

▲八 植物

田苧

中苧

八束穂

稲

稲

稲

稲

穂

穂

落穂

毛

新の四

四代

山四

燕帰ル

鷹

鷹

物

歳暮

▲十三 歳暮

右子

曆子

札納

春待

春近

星佛賣

年籠

年暮

行年

年の末

年の終

年の尾

年の年

家の年

惜む

満

年湊

年果

年限

▲二

生類

同 旧巢

朝 鷹

白尾子鷹

縹尾子鷹

佐保姫鷹

泊り 鷹

泊り 狩

泊り 山

鳴鳥 狩

鈴こさす

大の世俗いお針と
お小准へて釣るま
月坊りお室の名
所ナリ
宇多野 松ヶ崎
栗栖野 岡籬野
大野 長坂山
北山氷室トハ丹波河内
大和山城四ヶ所随一
お室の尾をわけてお
トさるるしりお
おけて繰又さ
ちりお室を尾をさ
さしてゆくお心なる
おめんとお
おるはさのつらね
おおさあめは
アサキお室お室
おまお おお
お室お おお
おんこおとハお
おめやアサキ
おお

雁鳥化テ 鳩ト成

蛙

▲六

乾坤

永夏 陽水

氷 暑

氷 室

ひと川りす
おのおとの
むむろのま
お室ま

お室のお八月一日
より九月まで試
まらねば水ともお
一口浅ねあともお
おるるに
お水はお熱月
お水はお熱月
お水はお熱月
お水はお熱月
お水はお熱月

お室の尾をわけてお
トさるるしりお
おけて繰又さ
ちりお室を尾をさ
さしてゆくお心なる
おめんとお
おるはさのつらね
おおさあめは
アサキお室お室
おまお おお
おんこおとハお
おめやアサキ
おお

▲八

生類

かおのま げん

菱 喰

暖 喰

厂 風呂

色 鳥

小鳥 渡

小 鳥

小 陵

鵜 白

目 白

眉 鳥

頬 赤

山 雀

四 十

五 十

連 雀

啄木 鳥

下 下

下 下

▲十二

歳暮

年 仕舞

年 子別

年 子名残

小 晦日

大 三十日

掛 取

の けと

暮 子玉糸

岡 見

除 夜

大 年

千 葉笑

冬 終

冬 終

▲二

生類

石龍出ル	蛇穴出ル	蝶 <small>てふく。胡蝶 あけもめふ</small>	蜂の巢	似我蜂	蜂	蛇 <small>ア ア</small>	蛙子	青蝦 <small>ア ア</small>	暮 <small>ヒキ カ</small>
------	------	-----------------------------------	-----	-----	---	--------------------------	----	---------------------------	---------------------------


▲六

乾坤

納涼 <small>す ま</small>	露涼 <small>り や</small>	月涼 <small>げ つ</small>	涼風	風薫	温風 <small>う ん</small>	三伏	日盛 <small>ひ つ</small>	日盛 <small>ひ つ</small>	日盛 <small>ひ つ</small>
---------------------------	---------------------------	---------------------------	----	----	---------------------------	----	---------------------------	---------------------------	---------------------------

▲八

生類

鷓鴣 <small>し じ</small>	鷓鴣 <small>し じ</small>	豆鳥 <small>ま め</small>	鳩 <small>は と</small>	翠雀 <small>す い</small>	菊 <small>き く</small>		あをぢ <small>あ を</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>
---------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------	---	----------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

▲去嫌

生類 <small>せい るい</small>	植物 <small>しょ ぶつ</small>	水邊 <small>みづ へ</small>	山類 <small>やま るい</small>	冬 <small>ふゆ</small>	秋 <small>あき</small>	夏 <small>なつ</small>	春 <small>はる</small>	去嫌句式 <small>きょ けん</small>
-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	-------------------------------

地虫穴出ル	田螺	寄居虫 <small>や みり</small>	蝮 <small>へび</small>	まろこ	初鮒	飯蛸 <small>い ら</small>	鮎子取
-------	----	-----------------------------	---------------------	-----	----	---------------------------	-----

川系 <small>かわ が</small>	門涼 <small>か ど</small>	船遊 <small>ふね あそび</small>	青東風	青嵐	雲 <small>う ろ</small>	白雨 <small>しろ あめ</small>	志 <small>し</small>	志 <small>し</small>	志 <small>し</small>
----------------------------	---------------------------	------------------------------	-----	----	--------------------------	-----------------------------	--------------------	--------------------	--------------------

鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>	鶯 <small>う ら</small>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

魚 <small>い さ</small>	神祇 <small>かみ かみ</small>	釈教 <small>しやく きやう</small>	戀 <small>こひ</small>	無常 <small>むじやう</small>	述懐 <small>じゆ わい</small>	人倫 <small>じん りん</small>	衣類 <small>い るい</small>	食類 <small>しょく るい</small>
--------------------------	-----------------------------	-------------------------------	---------------------	------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	------------------------------

鹿角落

鹿の角 雜之

乃子鹿

衣食類

治聾酒

社り小酒 後免を耳のきき後治すなり

鮒 鱈

鮒ハ 雜之

蕪 鰈

・うまみ 雜之

大サ尺斗以塩水蒸令半熟取出陰乾スル丁數日而炙食仍名クムシ鱈表目賞之

神 秋

初 午

水間参

广耶参

本妙寺詣

東福寺儀法

泉

也人まの やりこり

清 水

清多むすお 清めくむ

清めせり 清めごとく

土用干

むー干 むー拂

はー井

嘉定 十六日

嘉定後

世談同答にふる文亦本説れり被辨の流を嘉定と傳九ハ穉のいふもせそ後業形すまー人季吟云そのなりハ一まハさのくくさのちうけ辨小とと免又米を汁六合おぼるなりと傳り

掛 香

簞

抱 籠

竹婦人 竹奴

鶴 鴿

夜ささき 石ささき

小ハハナ

稻 負 鳥

太 刀 魚

落 鮎

さびあや

河 鹿



のーの味

江 鮭

くさくさ染

あまき染

蛇 穴 入

衣食類

擣 衣

礎

衣打 衣高で打

散物と食物と

夜分 三寸去

降物 三寸去

居所 三寸去

聳物 三寸去

天象 三寸去

三寸去

三寸去

三寸去

風体 二寸去
名所 同
旅体 二寸去

山類之詞
山 峯
嶽 岨

二 神祝
六 乾坤
八 神祝
水邊

吉野餅配 一日

八幡初卯

大原野祭 上野

行基祭 上巳

園韓神祭 上巳

春日祭 上申

二月堂行 十四日

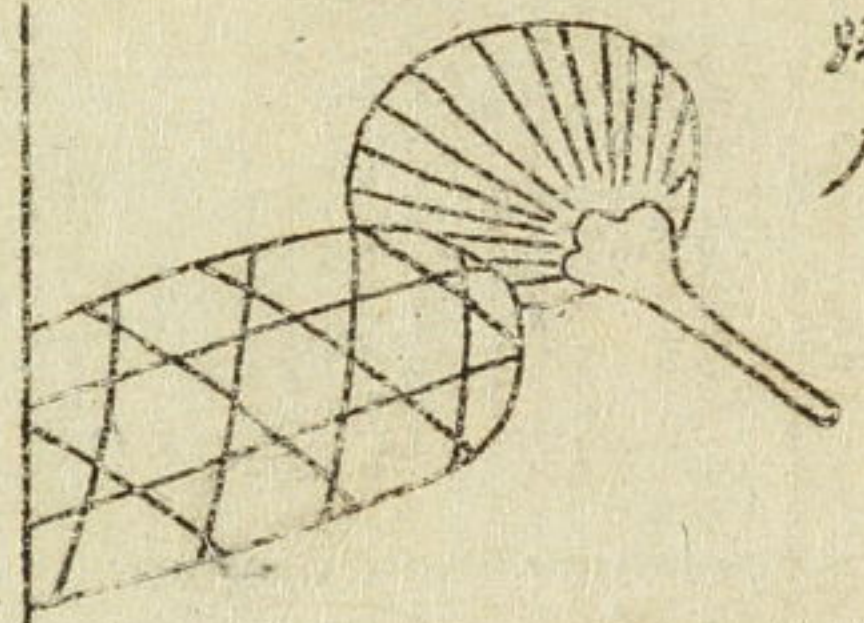
同大松明 十二日

同水より

肺馬

乾坤

并婦人



香需散

霍乱

夏瘦

夏つし

炎暑中頭瘡ノ發シタルヲ夏スニト云熟

毒ノ入ルスルモノカ

糲つく

夏引の糸

夏引の糸と云ふは夏ノ時引の糸と云ふ也

秋茂待

秋とつき

復ふり子

復よわ後

復暮テ

新結

新米

新酒

新酒

新酒

新酒

新酒

新酒

新酒

新酒

谷峠

麓高根

坂尾上

洞九折

瀧炭竈

岫畑

岡梯

關嶋

山姥山鳥

非山類詞

吉野三島

越路滝川

山賊嵩

獵人裾野

岩屋氷室

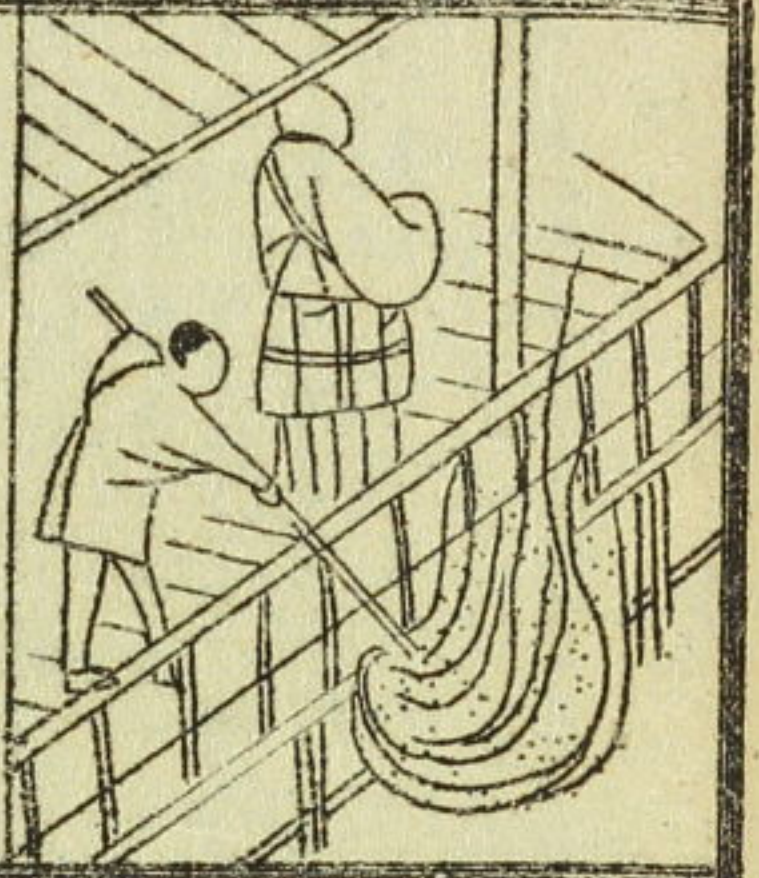
仙人杓人

猿山鳩

水邊詞

海川

浦江



薪能 七日

芝能 十日

比良八講 八日

祇園八講 四日

五穀祭 九日

常樂會 十五日

涅槃會 四日

神祝

三村祭 一日

堺天神祭 三日

白鬚開帳 五日

敦賀祭 十日

▲二

神祇

依のまうき

二月の三日

初もん像

さましゆ

意の果

遺教経

十六日

訓讀會

十六日

積塔

十六日

戎ハ石塔片カケリ

十六日 日人檢校

以下至聚分集清

聚庵斎孝光天皇

皇子雨夜御子終

石塔舎

彼岸

時正

時宗踊念仏

四宗寺最勝會

柱炬火

十五日

サカ

浅間祭

廿二日

スルカ

聖靈會

廿三日

雪塗大子のつるまて
天子をにてはるま
り終る侍人のあか

北野祭

廿五日

廿五日方違ふのは忌
りなれハ吉祥迄

▲六

乾坤

復み限

復み別

復過て

植物類

氷室の櫻

氷室の花

蓮

白蓮

紅蓮

荷葉

苞葉

さきま

蓮子實

澤瀉

蒲子穂

夕顔

むぎのあ

鼓子花

風蘭

時計草

射干

▲八

生類

放生會

十五日

いさむをさぬ



放生川と斗

十五日

野口念佛

十五日

菅大臣祭

十六日

五條坊門のあま

栴檀といふはるま

天神のほろのあ

御霊祭

十八日

来名祭

十四日

菩薩祭

廿三日

宰府祭

廿五日

西院祭

廿六日

公事敬度

駒曳

駒迎

五月の物

亭糸の物

むぎの物

▲水邊

濱澤

沼橋

瀧寛

樋嶋

池堤

漆流

淀淵

渚崎

沖津

磯浪

汀泡

瀬汐

潮洲

溝筏

海士魚

築火

浮木海草

清水布晒

船岸

水鳥貝

二 公事故度

丁未之講あり菅原氏つゝてむかへ

道明寺祭 廿五日

水口祭 甲ノ神

公事故度

献生子

ゆろこー二月一日
はまきさ袋百
穀瓜孝の第種と
入て送り後ノ
リ

季御讀經

六 植物

ひあふさ

日向葵 日本

玉簪草 日海

鷺草



眼皮

葎花

葎花

葎花

釣か草



尾

拮花

紙すき

麒麟草

八 公事故度

あいのり約

引まけ約

徳田の津敷少約
引てまゐる車ノ



釋奠

二月小田

司召 十日

神紙

細川狩

泉蛇籠

汐汲塩竈

蓮藻

井戸氷

あやめ

あやめ

非水邊詞

日の出

あやめ

あやめ

田苗代

管家岩船

住吉難波

鳴

あやめ

あやめ

神祇之詞

社

宮居千木

列見

才玄にて大方の
種をわらんと
公に上り細言の
史に冠にあはら
さし一て太政官に
わらんと方位に下
藝能ふりとのを極
て或ア兵約二省よ
りひきあてゝ赤の
上はめしよきて然
重宝後をこゝるア
へ列えんといふと
なり

釋奠

おさまつり

上丁日

▲三 公度改度

大子...
十...

祈年祭

四日六神...
百世座の神...
やけ...
まひ...
り...

三 月

乾坤

弥 生

初月

九春

季春

晚春

赤 姑

▲六 植物



赤 草

一名山酸漿

青 鬼 燈

青 花 色

薏 苡 仁

綿 花

紫 蘓

▲九 乾坤

無射

季秋

重 陽

重 九

菊ノ節句

後 籬

後 三 夜

後ノ名月

▲神祇

鯉木 鳥居

拜殿 御供殿

神子 加ふき

長官 御師

神樂 御拔

神輿 市殿

注連 繪馬

祭 御幣

大ぬき 拍掌

洗米 よろひ

御火焼 切火

船玉 東遊

乙女子 神馬

祝言 初持

忌竹 贄

禰 小忌衣

三寸 散米

神 玉垣

湯立 巫

ゆふ 起請

上 巳

桃花之節

桃之節句

雛 祭

経 あそび

三 経

内裏経

柳 太 刀

三月三日賜待臣細
柳園ヲ帶之免ニ蠶
毒以五ニ柳ノ髪ヲ
カクル成ベシ
柳ノ髪

蒜 花

茗荷花

麻

あそび

さくら

むのさくら

二高

藍 花

菅 花

蘭 花

后の月

月ノ名砂

秋 色

山 粧

露 時 雨

露 霜

露 霜

秋 深キ

暮 秋

行秋

后の月

三夜月

月ノ名砂

豆名月

▲三

乾坤

汐干

・干汐 鱈

土佐孫海視取

曲水

めぐりみ

老成博ス

巴字也

羽觸もあふ



八十八夜

忘霜

▲六

植物

つるも

青田

田草取

小角豆

まきけ

十八さき

糸瓜花

瓜

真桑瓜

かんでん瓜

茅瓜

音瓜

▲九

植物

秋よりほ

橘

冬

冬餅

冬とさ

秋の根

秋の名所

秋の刺

九月盡

植物類

菊花廿二

十日菊

後菊

残菊

菊のさき

さき菊

▲尺教

非神祇詞

惠方 年徳

橋姫 男山

龍神 龍宮

佐保姫 龍皇

葉守孫神

釈教之詞

佛菩薩名

僧孫官名

諸經孫名

寺院号

諸堂の名

諸宗の名

舍利入定

拂子如意

論義法問

觀念悟道

禁足 禪定

五戒 破戒

護摩 持戒

紅毛渡ル

初虹

虹初テミ

・虹ハ

終

爐塞

火燧塞

井爐裏塞

弥生山

竹秋

凌霄

姫瓜



葛花

百日紅



菊

菊合

あゝ菊

菊

万きく

百菊

秋知き

秋菊

方菊

小菊

妙の菊

乙女花

百折菊

おきれ菊

草牡丹

仙蓼

▲三

乾坤

清明

穀雨

夏至

夏至

夏至

暮春

行春

かつら

春分

春分

▲六

植物

早桃

李桃

林檎

木茸

竹の皮

越鶺鴒

雲雀

鷹

鷹

鷹

▲九

植物

我木香

佛甲草

小蓮花

芍薬花

芦花

尾花

尾花

尾花

尾花

尾花

▲尺教

錫杖

六道

地獄

來迎

齋

五輪

灌頂

五鈷

木魚

坐具

鉢

精舎

談義

衆徒

流轉

非釈教詞

煩惱

碩学

鐘

医者

血脉

柱杖

因果

極樂

引導

行堂

兆時

塔婆

癸心

獨鈷

願礼

和讚

笈

尼

功德

坊主

落

書記

名

春分名残

三月盡

植物類

桃花

白桃

姫

源平桃

櫻

山

遠

鷹羽を習

鷹

鷹

空

蟬

蟬

蟬

蟬

蟬

蟬

鶻上戸

芭蕉

うら

野山

野山

野山

草

枯野

枯野

草

我木香

佛甲草

小蓮花

芍薬花

芦花

尾花

尾花

尾花

尾花

尾花

錫杖

六道

地獄

來迎

齋

五輪

灌頂

五鈷

木魚

坐具

鉢

精舎

談義

衆徒

流轉

非釈教詞

煩惱

碩学

鐘

医者

▲三

植物

ひすさく	能さく
あさき	ちんまつ
かむさく	よき
あさき	あさき
ありさく	人丸
洗さく	やまひ
白ひさく	くの毛
手深さく	おせん像
湯さく	まきりら

▲六

生類

火ふ入む	復虫	金龜子	毛む	蠅	海月取	鯖釣
すまごころもち			経	スレモムシ	ラビ	サバ

▲九

植物

葛紅葉	紅葉	楓紅葉	檀紅葉	白膠木紅葉	漆紅葉	梅紅葉	櫻紅葉	杏子紅葉	柿紅葉
-----	----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	------	-----

▲戀詞

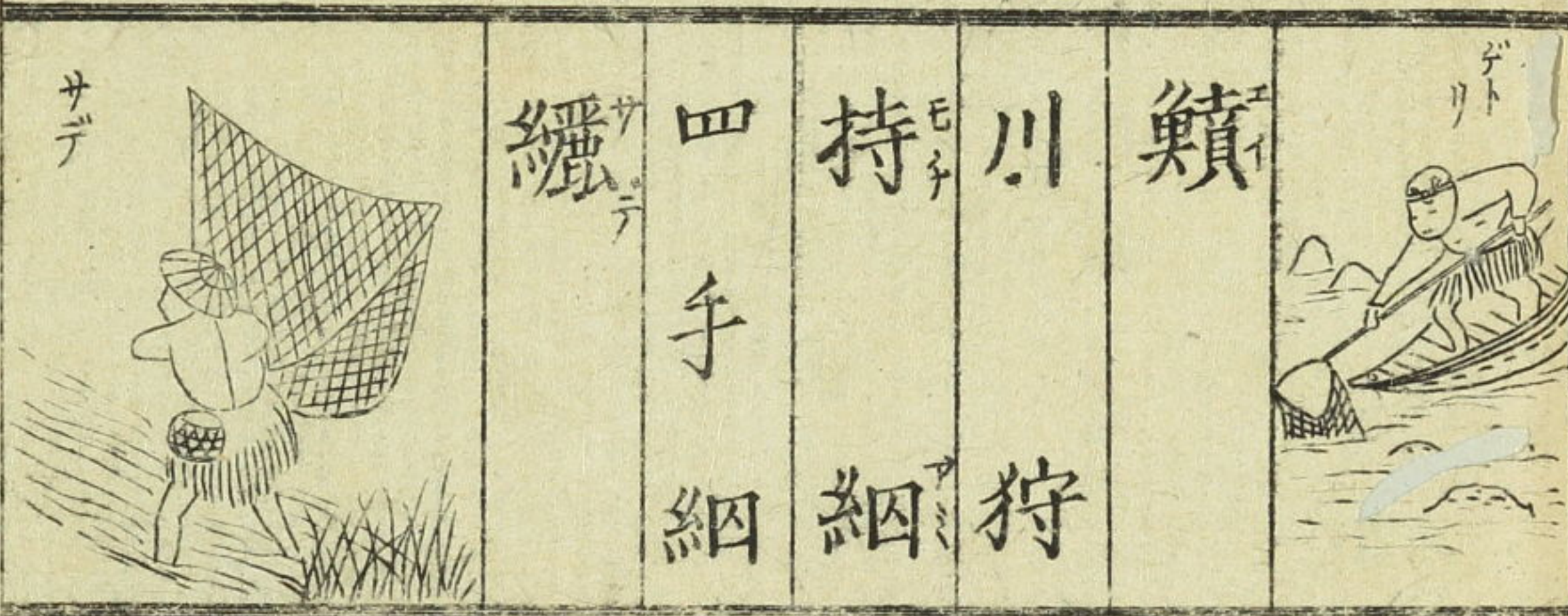
諸職人お釈名	意之詞
	あけひ
	うか杖
	袴まつり
	むごち草
	うづら者
	袖の者
	妹背
	のる林
	ちきり
	むすお節
	新まつり

おのりさく	法海
はくさく	よりのま
おせん像	あふま
あけまのま	うさーま
おせん像	
おせん像	
おせん像	
おせん像	
おせん像	
おせん像	
おせん像	

犬 櫻

花 褒美お花

画の花 織お花



柀紅葉	海由紅葉	槻紅葉	檜紅葉	楢紅葉	下のみち	下のみち	紅葉	紅葉	紅葉
-----	------	-----	-----	-----	------	------	----	----	----

後の物	垣阿人	虫の下	おのり	おのり	おのり	おのり	おのり	おのり	おのり
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

梨の花

ウマノハシの花
つばきの花

浦島花

玉帯花

ゆきしろ梅

杏の花

かきつばた

李の花

木瓜の花

かきつばた
まわげ

葛水

砂糖水

振舞水

心太

切麥

冷麥

干瓜

奈良漬

煮梅

梅干漬

九年母

柚

柑子

蜜柑

佛手柑

佛手柑

佛手柑



東の花

楸の花

胡桃の花

柳の臺

つゝもの
あまのこ

果欄花

馬酔木花

庭梅

蘓枋の花

長春

納豆仕込

醬造

かんひやく

沖鱈

せこー
鱈

掛鯛



富士詣

愛染茶

六月會

果欄

あんちやう

雲州橋

皂角子



楡特

榛

標

三つり小姓

あはれ

丸ひび

嫁

女房

おひ

えん

おひ

おひ

おひ

たまむす

まのり

出合

あひ

おひ

おひ

おひ

白拍子

傾城町の名

▲三

植物

沈丁花

石南花

辛夷

あてこぶし



連翹

あじさい

小粉團花

雪柳

小米花

茶摘

桑葉摘

令法

あてこぶし



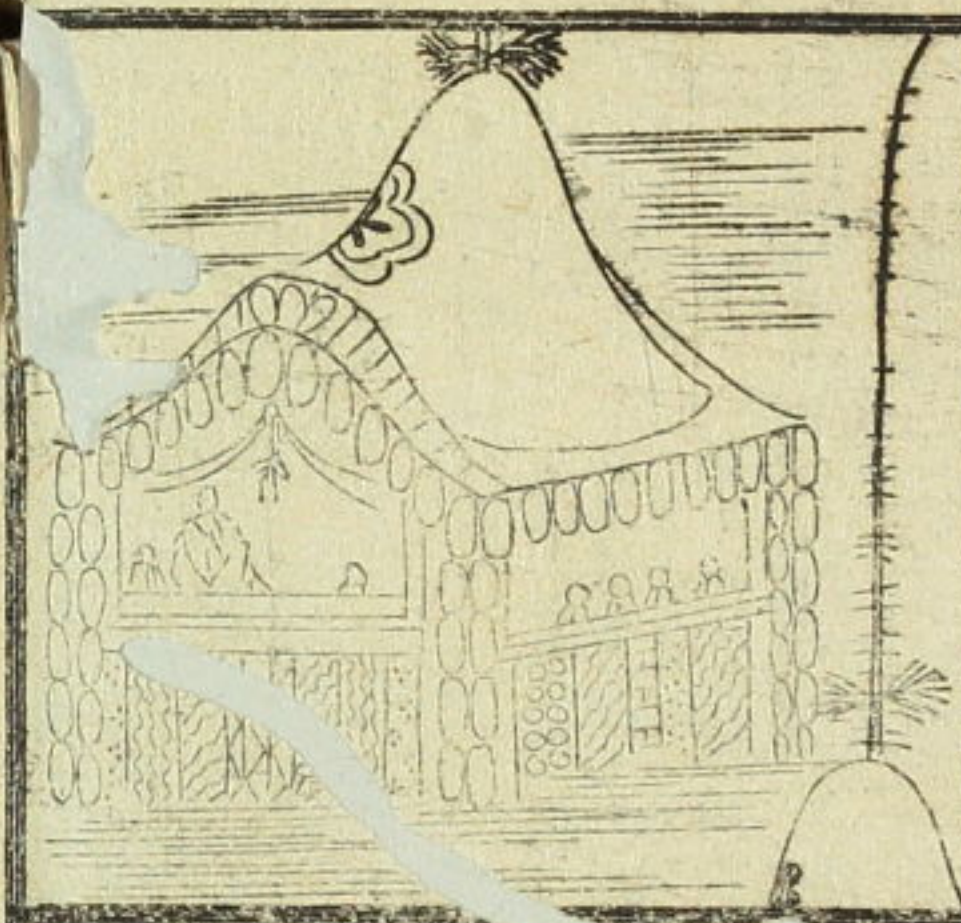
残花

▲六

神叙

祇園會

七日円院天延二年六月六日助正の者あは小遷東酒造へ移産育つて秀差又より屋敷代り七日の急りて秀差秀差公の時々の四條系極の区族所ヲ延スル



針

函谷

月鉾

雞石

菊水

秘鉾

放下

岩戸鉾

孟宗山

占出山



郭巨山

琴割山

▲九

植物

桐油の实

櫻

菜

團栗

栗

栗

栗

栗

梨

栗

木乳

山乳

古乳

新乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

お水の乳

▲無常

非意詞

おく様

後お

あけのめ

市女

ゆり

中居

乙女

下女

海

鏡

梯

無常之詞

あけのめ

入魂

迷弄

白骨

死の心

立治

墓

墓

青葉花

推章のハ決抄に
残むと出ーとらん
本の中に入ある物
るといふ一夏の影
ちるハるいーと
るむるなるうー
目る物必なる
むとーして作
あひむ、なる
ほとくー

躑躅

とらつー
紅つー
赤つー
白つー
青つー
紫つー

藤

老藤
藤の棚
藤波
藤縄
藤
仙臺萩
華曼草
山吹

新

半季梯

豆

小豆

遅

引

引

田

紅葉

新

類

深秋其露愛紅
謂モミダスナト

尾越の鴨



霜踏鹿

熊の栗棚

豺獣の祭

網代打

衣食類

四十九糕

さくら食

あき人

うらぬ様

左きおすは

あき柑

あき柑

あき柑

述懐詞

あき人

やとめ

あき人

浪人

あき人

あき人

あき人

あき人

あき人

あき人

うき世

親子

陽居

世後

古家

非述懐詞

賤

山姥

愚

山姥

尉

山姥

尉

山姥

夜分ノ詞

月星

八重山吹

茅山吹



高麗菊

阿比菊

春菊

母子草

櫻草

九月八日

七重子

金仙花

金鳳花

名ひね

五形

春蘭

薊

鬼阿比

眉作花

津島祭

十月九日

芦の御糞

熱田祭

十月五日

江戸山王祭

十月五日

伊勢祭禮

竹生島祭

十月七日

博多祭

十月五日

妙音講

十月

相國寺懺法

十月

座頭涼

十月九日



上難波祭

十月廿一日

鞍馬竹切

十月廿一日

菊の酒

栗祝ふ

ふどろ酒

阿比め酒

抽味噌

とち餅

新蕎麥

青豆

黄柿

耳干

明星曙

霄寐

枕夢

神樂日待

七夕曉

猫妻狐

横雲

花火灯火

燈籠

火鶉飼

埋火明方

人魂蒲團

床きぬ

辻君崩

蝙蝠寐

初雞蚊帳

追儺除夜

非夜分詞

鐘入相

泊

る秋

▲三

植物

鬼あまのこころなり

董あまのこころなり草

一あまのこころなり扱あまのこころなり草

一あまのこころなり扱あまのこころなり草

丁子草

馬あまのこころなり蘭

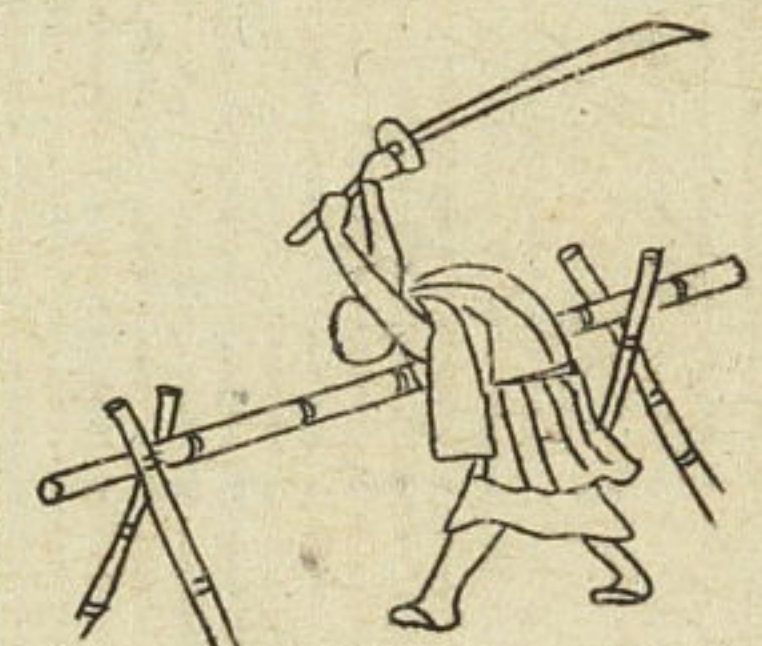
茅花

茗荷

なもこ

▲六

神祝



寺説三竹切華具ハ
蓮華會トシコ中興
開山崎延和尚ノ此カ
ラ大蛇段生ノナス遠
意具峯延ノ遠忌會
ハ役ノ護法ハ開山鑑
禎和尚ノ蛇ヲ故ヒテ
護法神トス由縁ノ法也

座摩祭廿二日

四取島祭廿七日

▲九

神祝

一茂毎毎末末のの位位ににハ
ささしし玉玉ふふととはは是是後後
列列ののくくしし中中ととももや
てて身身よりよりししてて伊伊をを
毎毎まましし終終りりおおふふここ故故
亦亦神神々々のの列列とといいふふ也

山口祭中防州

桂宮相撲八日

貴船祭九日

鞍馬祭同

御香宮祭同

生玉祭同

醍醐祭同

▲非人倫

暮の月夕月

有明法灯

宿克一扱酒

芦火三月廿

ああささるるととちち

ああささるるととちち

明あももおおきき

人倫之詞ああららははららひひととああららははららひひ及及略略之

非人倫詞

若わか菰こも

檮しゅう花

通草花

水落の花

三月菜

三月大根

青あまのこころなり麥

草あまのこころなりつむ

萍うき初はつテて生なス

愛宕千日詣廿四日

天満御後廿五日

橋立祭同

辛崎祭廿日

御手洗詣廿九日

水魚月能廿日カカ七七

住吉御後廿日

同同火替火替

鎮火祭廿日

四宮祭同

下鳥羽祭同

五條天神祭同

太秦祭十二日

牛牛おおつつりり十二日



御難餅十三日法法花花

帝太子

皇女仙人

本院新院

親王門跡

大君大名

一門人間

奉行地頭

代官長老

和尚坊官

某某凡夫

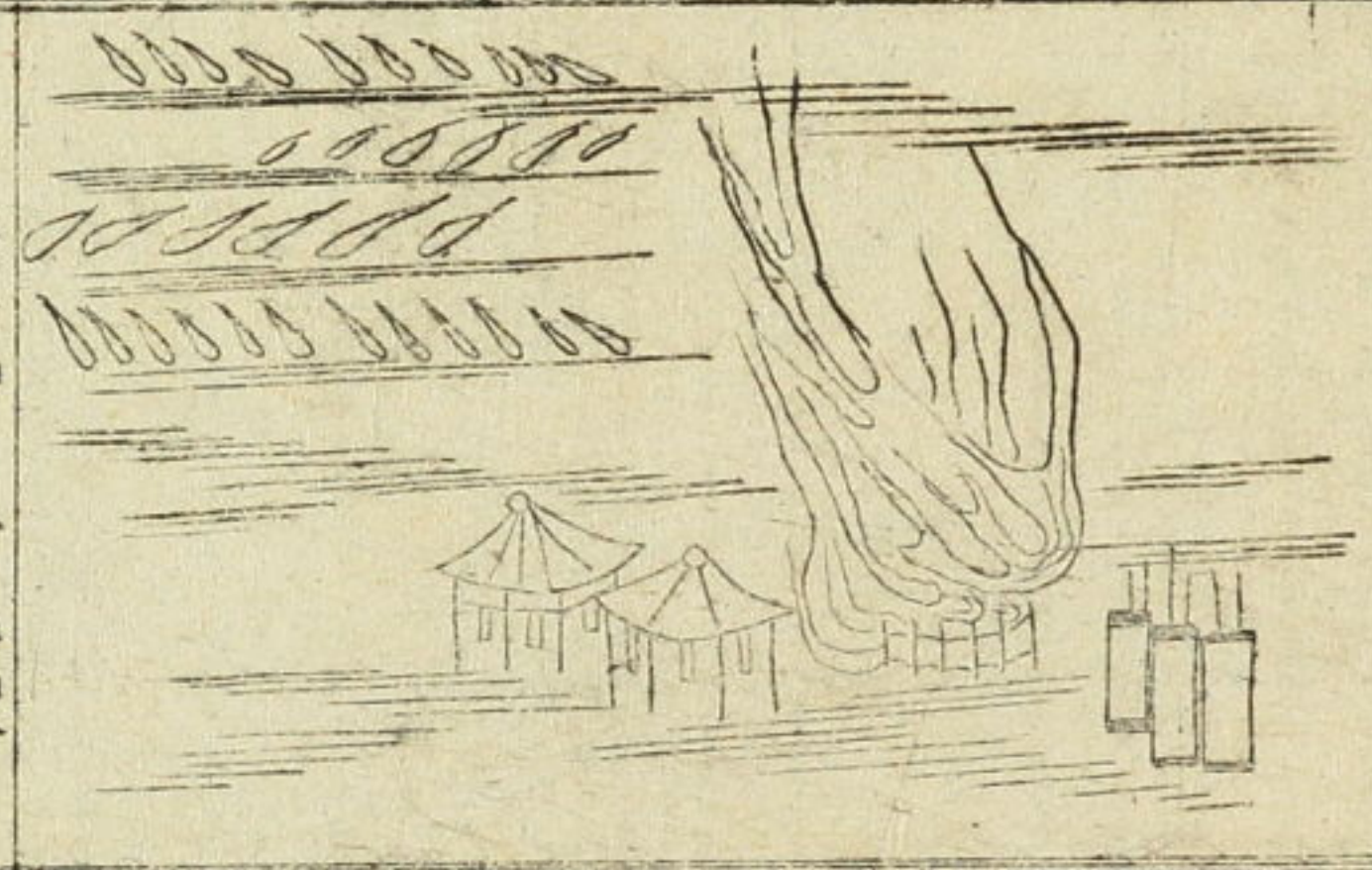
▲三

生類

郭公巢	鶉の巢	鷹の巢	鳥帰ル	雲二入鳥	呼子鳥	雞合	生類	三葉芥	菊裁替
-----	-----	-----	-----	------	-----	----	----	-----	-----

▲六

神祇



下村民の人ち伐打てま味の田の角示て祭るありあり大災後まのん

▲九

神祇

度會新嘗祭	岡崎祭	河内一宮祭	小倉祭	岩倉祭	神田祭	住吉相撲會	外買ふ	宝砂市	白川祭
-------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----

▲非人倫

居所之詞	二人	身	外料	時守	私	大工	民	俗
あむらり	三人	かき	本道	橋守	苗主居	且那	百姓	入道

鳶の巢

田嵐化シテ

鶉ト成

麥 鶉

あひ小

むらじ

若 鮎

小阿ぢ

鮎液

のかりあぢ

柳葉魚

柳 鮎

櫻 鯛

雨 乞

大 枝

復けく

夕まうん

ろくろつ子

名越の枝

何くまの枝

みまの枝

御枝川

形 代

伊勢御遷宮

祭庭言り物指し我言へ奉る玉ヲ去度會六西宮ヲ去大嘗會トハ御即位後日本國中ノ神々御供ヲ奉ラセ玉フニ云

穴織祭

在振州豊嶋郎池田村民家ノ北山ヲ写綾羽大明神穴織具服社其門ツカケテ往縫殿寮ノ神トス毎年九月十七日十日ヲ西社ノ祭事トス神衣祭ト銘ス

吳服祭

号ニ吳服大明神ニ神縁前ヨリ

非居所詞

社 寺

堂 皇居

内裏 伽藍

室の石 築山

柱 市場

町 芝居

衣類の詞

あむらりふ及略

非衣類詞

▲三

生類

魚

魚

貝

蚕

葉

獸

上 藻

衣食類

菱餅

蓬もち 母子もち

▲六

神祇

茅の輪



輪越の枝

あもやう

麻の多あ流ス

小蠅あま神

方は之權の如く 為神多哉いふこ

▲九

神祇

城南神祭

上難波祭

婆利女祭

八幡花頭

座摩祭

淀祭

逆髪祭

天満流鏝馬

北山祭

▲衣類

直垂 狩衣

素襖 袴

奴袴 小忌衣

白張 淨衣

袷裳 上下

肩衣 十徳

水衣 居士衣

帯 頭巾

足袋 立付

股引 御半

桃酒

茶試

判茶 眞茶

櫻衣

山吹衣

山吹衣

神親

巳日 後

須磨枝

経供養

天王寺

さつへなほいへー人

指もわいほへてき

ふなごころのけいへ

そと一と後りさ

くへなほるる日午紀

あり

復神樂

醴酒供

忌日御飯

神今食



津村祭

鳴滝祭

桂川御枝

住吉神送

重陽枝宴

藤衣

禪

旅体之詞

門出 餞別

送別 本陣

乗掛 めめ女

出女 旅籠や

木賃 川留

宿取 問屋

馬借 跡付

▲三

神祝

石山祭 三日

粟津祭 四日

一乘寺祭 五日

水尾祭 九日

安良居花 十日

高雄法華會

吉野會式 十日

禮拜并講 十三日

壬生念佛 十四日

一切經會 十五日

▲六

公事故度

大神宮へ天子のついでに神供儀のぬふるなり

御躰御卜 十日

玉碎はつてしん奉代奏しし事なり

鮮齋御粥

神今含の次の朝日の出産の大祭にてはるなり

月次祭 十一日

是ハ六月十二日たる夜なり

▲九

公事故度

菊花の宴

自度して群居する酒儀なり

例幣 十日

任勞大神宜の御幣を奉るなり

撰 虫

厨上の道はよして屋上入さう柱はひて宛籠む

▲火作

風体

小荷駄 一里塚

關札 輕尻

火躰之詞

烟 炭竈

燈火 煤

炉 火燧

火鉢 火桶

風体之詞

吹 風鈴

扇 團

善導忌 十四日

梅若祭 十五日

勸學會 四日

嵯峨大念仏 四日

浅草祭 十八日

人丸忌 四日

比良祭 十五日

御身拭 十九日

南祭 廿一日

稻荷御出 三

節 折 十日

はつりのお令帰竹又て上上の御

ふけの法儀を奉るなり

雷鳴の陣

雷の声三度言ひたれハ大將以下近

圍の杯おすて弓矢を常しては廣の

孫麻ヲ候にて帝代を護るなり

不堪田奏

むらゝの田の換毛儀天子へ奏

秋 終

施 米

山寺の借へ米糧をど給ふなり

復 終

笹物之詞

雲 霞

霧 虹

烟 糸

のけろふ 木二の相

浅間のふりいふつり

いなひのり 月の居

おろきとありまゝこゝ小記

松尾御出

卯

御影供

廿二日 弘法

高雄女詣

卯

順峯入

千本念仏

鎮花祭

此町の老うふ
ころ彦神分取
して人彦神
またる彦神
彦神あり彦
彦神あり彦
彦神あり彦
彦神あり彦
彦神あり彦

公事故支

踏 音

跡は地に出る地
ふるこ

油花ト

鞞 鞞

半仙のたひれ

あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

てき渾儀むき
うてうてあそふこ

寒 食

とろこー 夜子推
といふ 笑人火に
やけ死さるうら
あゝあゝあゝあゝ
火後禁す

魏の民帝

楡柳の火

周禮三曰四時慶國
火春取楡柳之火
夏取東杏之火
季夏取栗柞之火
秋取柞楸之火
冬取楸柞之火
唐時

て余ハをて
るべー

七 種

春 荇 佛坐 酒代

荇 佛坐 酒代

荇 佛坐 酒代

荇 佛坐 酒代

荇 佛坐 酒代

荇 佛坐 酒代

荇 佛坐 酒代

荇 佛坐 酒代

慈明忌

十七

闇良忌

廿五

清浄忌

廿三

本然忌

百回

十 干

甲

乙

丙

丁

戊

己

庚

辛

壬

癸

唯清明二取楡柳之火
以テ賜近臣

杏 粥

寒食為太麥粥
研杏仁為酪以
餉之

東 子 餅

寒食以麵為餅
樣團棗附之各曰東餅

桃 花 粥

金門歲節曰寒食
裝蒿花與煮桃花
粥

春 終

六十 耳順

六十一 還曆

七十 古稀 困杖

八十八 米字 外擡

下壽 六十

中壽 八十

上壽 百

追善 追悼 追福

初願忌 初七

以芳忌 二七

光善忌 三七

廷芳忌 四七

小練忌 五七

且弘忌 六七

前全忌 七十

幽回忌 百々

小祥忌 一司

大祥忌 三周

起祥忌 七周

寂照忌 十三

年 齡

四十 初老 不惑

五十 扣个 家杖

十二支

子ネ 丑ウ

寅ト 卯ウ

辰ネ 巳シ

午ウ 未ミ

申サ 酉ト

戌セ 亥ケ

五儀

五儀小付て報く
の習ひあるとい

調の五調な
り六後多し和音の
六振なり此二の茂
怪ハありさら免れ
ハハ等の及の次第
破之ふうてまふ
る有ま

篇ハ

上五文字なり琴
ハハを召多倍し
と必ひ立て宿茂
いあるさほなり

序ハ

中七文字なり此
宿よりと

題ハ

下五文字なり此
ひまを召る調
さほなり

曲ハ

下の句七文字なり
用る仕すふてさ
くの必なり

流ハ

座の七文字なり
と必そとほなり
さほなり

事田よりと
も此道不入もの
五美六美をあら

ましてハ叶さるお
なほほもの

篇 第
八月宮倉格

山のほきき

曲 おろあは

流 唱まらうか

此奇五例の付は
又曰曲流の育て下
に篇希数と能る
ものり希奇な
く三のり一
曲なり有ものな
り

花形句作心得

△春の正花の内

- 花の露 水辺
- 花の雨 浮物
- 花の雲 葉わ
- 花の友 人倫
- 花を友 人倫
- 花を宿 層而
- 花を楳 心
- 花を楳 七言

花い

水邊

花の波

同上

花の香

同上

花の雪

同上

花の友

同上

花を友

同上

花を宿

同上

花を楳

同上

花を楳

同上

花を楳

同上

懐紙式

百韻

- 表八句 七言
- 裏十四 九言
- 二十四 十三言
- 二十四 十三言
- 二十四 十三言
- 三十四 十七言
- 三十四 十七言
- 三十四 十七言
- 右四折 月七
- 歌仙 花四

▲花

右の正花植物より二寸去り

右の正花植物より二寸去り

△褒美の正花

花の袖 衣類

花の顔 多

花の都

織物の花

花二月名を記すむすふ寸去り

△夏の正花

花つゝ 秋

時季小花をむすふ寸

花衣 衣類

花の春 果且

花の姿 同上

花小 凡右の紙植物より二寸去

花の花 植物より二寸去

花の條の花 多

花つゝ 秋

花火 衣類

時季小花をむすふ寸

年の花 同上

花うつゝ

花小 凡右の紙植物より二寸去

花の花 植物より二寸去

花の條の花 多

花つゝ 秋

花火 衣類

時季小花をむすふ寸

表六寸

裏十二

各十二

各六寸

右二折

四十四

表八寸

裏十四

二十四

二八寸

右二折

七十二候

五寸

七寸

十寸

七寸

目三

七寸

九寸

十三寸

十三寸

七寸

月三

五寸

七寸

十寸

七寸

目三

七寸

九寸

十三寸

十三寸

七寸

月三

△秋の正花

右の正花植物より二寸去り

△冬の正花

右の正花植物より二寸去り

△雑の正花

花の枝り

花嫁 人倫

花靴 衣類

花輕 衣類

△正花百韻 右仙一折二寸去り

花の字を記すむすふ寸去り

花小表をむすふ寸去り

花火 衣類

花の條の花 多

花つゝ 秋

花の姿 同上

花小 凡右の紙植物より二寸去

花の花 植物より二寸去

花の條の花 多

花つゝ 秋

花火 衣類

時季小花をむすふ寸

花の通 同上

餅花 食類

花の條の花 多

花つゝ 秋

花の姿 同上

花小 凡右の紙植物より二寸去

花の花 植物より二寸去

花の條の花 多

花つゝ 秋

花火 衣類

時季小花をむすふ寸

表八寸

裏十四

二十四

二八寸

各十四

各八寸

右三折

源氏

表六寸

裏十二

二十二

二十二

七寸

九寸

十三寸

十三寸

七寸

目三

七寸

月三

五寸

七寸

十寸

初

・花小名所むすふ寸 日上 花ニ生於枝ふ寸 同上

・月花をむすふ寸ハ一産ニ寸の外申さる

△正花トあはるる 花のか

・花けりし ・花さ・花丁子 ・灯の花

・火花 ・雪のむ 六出花 ・渡秋のむ

・茶の花多 ・かくし花 九は花

月折句 作心得

△秋折月の句 ・さの月 ・夕の月

・夕月 ・暮の月 九は花折ふあふ寸

・三日月出 折ふ月あはるるニ甲月とまうり折あふはり

・有明入 折あふあはるる明の月ハ折あなり

・明あはるる月 折あふあはるる明の月ハ折あなり

・月の友 人倫 折あふ ・月の主 上小四

・月の宿 屋西 折あ ・月を宿 屋西 折あ

・月の出 あ道 折あ ・月の光 あ道 折あ

・月折雪 ふり 折あ ・月の表 上二四

・月の桂 梅 折あ ・月を桂 梅 折あ

・婿捨更斜小月付てくうりうす

・月折のむすふ寸折をるる寸

・月ニ表枝むすふ寸折代をるる寸

△月折異名 ・玉鬼 ・玉蟾 ・常儀

・蟾娥 ・桂影 ・氷輪 ・氷鏡

・金波 ・玄鬼 ・銀盤 ・けらえわこ

名十三 二

名六寸 五

右三折 月

表八寸 七

裏十二 七

二十二 十

二十二 十

三十二 二

三十二 二

名十三 三

名八寸 七

右四折 月七

易

表八寸 七

裏十二 七

二十二 十

二十二 十

名十三 二

名八寸 七

十八 三

表十寸 八

裏八寸 七

桂男
待霄
・いざよひ
・立待

居待
・廿日中
はれおかしきと面り
月一冊あり

△春秋月
・繼月
・月夜む

・春の三月月
・春の夜明
・月ニ花むすめ月

△夏月
・月涼し
・明安き月

・夏の夜振
・夏の累お積ひくる月ホシ

△冬の月
・月氷ル
・冬は累お積ひくる月

・冬月
・月さむし
・冬は累お積ひくる月

△雑の月
・高如の月
・心の月

△胸の月
はあ月のけり事あり
・おろそかあり

△月の寸
百韻ホ八面一一寸定テきべし

右一折

五十韻

百負の
ニノ
サテ

右二折
花月

長歌
七ヤ

表八句
七ヤ

裏十六
九ヤ月
十五ノ花

名十六
十五月

名八句
七ヤ月

右二折
花月三
花ニ

短歌行

表四句
月

名物の裏一ハ方々不也

・月と月五句去之折面残うて

・月一ヶ月次の月三句去
・月ニ日星ニ句去

・月ニ孤生
はれきくハ余ハ怪してあるべし

△月々々々
・月々
・月毛の物

・月淡のく
・月輝寺
・月御書あり

・星月振
・月次の月

・有月此字々れが
面の月一あり

裏八句

名八句

名四句

右二折

十句

百韻

十巻

春句
四季ニ

秋三句
冬ニ句

懐紙式終

○切字事

哉・ゆゑなり・めり・おそ・又・也・以・何・業・さそ・や・か
 つ・ん・あり・ち・年・ぬ・向・し・
 一・濁り・し・
 う・よ・い・ろ・い・ろ・で・い・づ・く・
 け・せ・て・ね・へ・め・き・な・よ・そ・
 右の外に二字切・三字切・大田一・をまらう一・三修
 切といふ事あり・多小略て

○五十字韻

あ	か	さ	た	な	む	ま	や	ら	わ
い	き	し	ち	に	ひ	こ	あ	り	い
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	ろ	う
え	け	せ	て	ね	へ	め	る	れ	え
お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	を

假名のあ・い・や・う
 上なる字幾・父字と云下はなる字を
 母字といふ・父字ハ假名又云はれ・うら
 幾上下へうらふのこ・少て横へうこの
 とき
 母字ハ横十字のうらむを合へうらふ
 のこ・少て横へうこのとき
 さきハ横十字のうらむは父字母字
 時々母字ハ右を合へうらむのとき
 母字のうらむり・父字のうらむり

て父字をうり 字をうり

又豎五字のうり小父字母字有時ハ父字ハ上下へうりのなれ
ハ父字のうり母字のうりハ母母字のうりハ母ひて母字幾くハ母字をいふ
又けりの及シハ父字豎のうりも上下へうりハ母切なれハ母字の
るも横り色り入り

母字ハ父字のあゝ豎入り行何なるハ母亦うり 字をけりハ母の及しき
こ是もハ母の及しき

又伴勢切ハ母

此の如くハ母あてふりハ母あたる人々ハ母させたりハ母
此の如くハ母あてふりハ母あたる人々ハ母させたりハ母

芭蕉翁口授

夏ハ秋うきうきふの

冬ハ秋ふあき

春ハ秋ふのくタイ落

春雨ハさうくく眠

雪ハ秋立てゆふへはゆる

五月雨ハ降つきたれ

冬風ハ秋よきむ

秋の雨ハあもれなるもの

秋風ハ夕まき

冬ハ夏さきもの

夏ハ秋ふの

法雪ハ春なるへ

秋煙ハ夕まき

秋の雨ハあもれなるもの

川音ハ 夏あけの

上弦ハ七日八日の月

海音ハ 夏あけの

下弦ハ廿二日の月

草うりむきてる哉

法楽ハ 寺社よき

草ちむきて風をき

奉納ハ則寺社に納る事

木の花ハ秋はく

奉納ハ則寺社に納る事

草の花ハゆふへは美

奉納ハ則寺社に納る事

明治十二年五月十三日
翻刻御届
發兌
同 年六月

京都府下上京區第三十組
油屋町六百番地橋本周藏方寄留
山口縣士族

翻刻出版人

岡田寅之進

同

下京區第拾三組
寺町通綾小路南入

發賣人

川勝德二郎

